

# 環境放射線監視季報

(Quarterly Report of Ibaraki Environmental Radiation Monitoring)

第158報 (平成23年度第 3 四半期)

第159報 (平成23年度第 4 四半期)

茨城県  
東海地区 環境放射線監視委員会



# ま え が き

本県の東海・大洗地区には、原子力発電所をはじめ、使用済核燃料再処理施設、核燃料加工施設、試験研究用原子炉及び核燃料使用施設など各種多様な施設が多数立地しています。

このため、県は東海・大洗地区における原子力施設周辺の環境放射線の監視を民主的に行うため、第三者監視機構として「茨城県東海地区環境放射線監視委員会」を設置し、監視計画を定めています。この計画では、監視の目的を「原子力施設周辺の環境保全を図るとともに、公衆の安全と健康を確保する」ために、

- ・ 周辺公衆の線量を推定評価する
- ・ 環境における放射性物質などの長期的変動を把握する
- ・ 原子力施設からの放射性物質の予期しない放出などの短期的変動を把握する

として、国、県、原子力事業所が分担して実施する監視・測定項目・頻度や評価方法などを定めています。

関係機関は、この計画に基づき監視・測定を行い、四半期毎に監視委員会に報告を行っています。この報告について、監視委員会の下部組織である評価部会が詳細に検討を行い、その結果を踏まえ、監視委員会が評価を行い、監視季報としてとりまとめております。

季報の内容は次表のとおりです。

季 報	評 価 項 目
第1四半期	短期的変動調査結果（4～6月）
第2四半期	短期的変動調査結果（7～9月）、長期的変動調査結果（4～9月）
第3四半期	短期的変動調査結果（10～12月）
第4四半期	短期的変動調査結果（1～3月）、長期的変動調査結果（10～3月）、年間線量の推定結果（4～3月）

本監視季報は、平成23年度第3四半期及び平成23年度第4四半期における評価項目について、平成24年7月30日に本委員会を開催して評価した結果です。

なお、福島第一原子力発電所事故による茨城県内全域における農畜水産物等への放射性物質の影響については、別に特別調査として報告を受けています。

茨城県東海地区環境放射線監視委員会

委員長（茨城県副知事）山 口 やちゑ



# 目 次

## 〔第158報 平成23年度第3四半期環境放射線監視結果〕

I	監視結果の評価	1
II	監視結果の概要	3
II-1	短期的変動調査結果	3
III	測定結果	9
III-1	短期的変動調査結果	9
1	環境における測定結果	9
1-1	空間 $\gamma$ 線量率測定結果	9
1-1-1	モニタリングステーション	9
1-1-2	モニタリングポスト	13
1-2	大気中放射能測定結果	18
1-2-1	大気塵埃中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	18
1-2-2	降下塵中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	20
2	敷地内における測定結果	21
2-1	空間 $\gamma$ 線量率測定結果	21
2-1-1	モニタリングステーション	21
2-1-2	モニタリングポスト	21
2-2	大気中放射能測定結果	22
2-2-1	大気塵埃中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	22
3	放出源における測定結果	23
3-1	排 気	23
3-1-1	排気中の放射性核種分析結果	23
3-1-2	排気中の全 $\beta$ 放射能測定結果	35
3-1-3	排気中の全 $\alpha$ 放射能測定結果	38
3-2	排 水	39
3-2-1	排水中の放射性核種分析結果	39
3-2-2	排水中の全 $\beta$ 放射能測定結果	53
3-2-3	再処理施設排水中の放射性核種分析結果	56
3-2-4	再処理施設排水中の全 $\beta$ 放射能測定結果	61
3-2-5	排水中の全 $\gamma$ 放射能連続測定結果	62

参考 1	原子力機構再処理施設排水環境影響詳細調査結果	64
参考 2	主要施設運転状況	67

〔第159報 平成23年度第4四半期環境放射線監視結果〕

I	監視結果の評価	69
II	監視結果の概要	71
II-1	短期的変動調査結果	71
II-2	長期的変動調査結果	76
II-3	線量の推定結果	78
III	測定結果	81
III-1	短期的変動調査結果	81
1	環境における測定結果	81
1-1	空間 $\gamma$ 線量率測定結果	81
1-1-1	モニタリングステーション	81
1-1-2	モニタリングポスト	85
1-2	大気中放射能測定結果	90
1-2-1	大気塵埃中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	90
1-2-2	降下塵中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	92
2	敷地内における測定結果	93
2-1	空間 $\gamma$ 線量率測定結果	93
2-1-1	モニタリングステーション	93
2-1-2	モニタリングポスト	93
2-2	大気中放射能測定結果	94
2-2-1	大気塵埃中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	94
3	放出源における測定結果	95
3-1	排 気	95
3-1-1	排気中の放射性核種分析結果	95
3-1-2	排気中の全 $\beta$ 放射能測定結果	107
3-1-3	排気中の全 $\alpha$ 放射能測定結果	110
3-2	排 水	111
3-2-1	排水中の放射性核種分析結果	111

3-2-2	排水中の全 $\beta$ 放射能測定結果	126
3-2-3	再処理施設排水中の放射性核種分析結果	129
3-2-4	再処理施設排水中の全 $\beta$ 放射能測定結果	134
3-2-5	排水中の全 $\gamma$ 放射能連続測定結果	135
Ⅲ-2	長期的変動調査結果	137
1	環境における測定結果	137
1-1	空間 $\gamma$ 線量測定結果	137
1-1-2	積算線量測定結果	137
1-2	魚網表面吸収線量率の測定結果	146
1-3	大気中放射能測定結果	146
1-3-1	降下塵中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	146
1-4	陸土中の放射能測定結果	149
1-4-2	河底土中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	149
1-4-3	海岸砂中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	149
1-5	陸水中の放射能測定結果	149
1-5-1	河川水及び湖沼水中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	149
1-5-2	飲料水中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	149
1-6	海洋における放射能測定結果	150
1-6-2	海底土中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	150
1-7	排水口近辺土砂中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他)	153
2	敷地内における測定結果	154
2-1	空間 $\gamma$ 線量測定結果	154
2-1-1	積算線量測定結果	154
Ⅲ-3	線量の推定結果	155
1	放出源情報に基づく実効線量	155
1-1	放射性気体廃棄物による実効線量	155
1-2	放射性液体廃棄物による実効線量	157
2	積算線量による外部被ばく実効線量	159
資料1	実効線量算出に用いた測定結果の集計結果	160
1-1	積算線量	160
1-2	放出源における放出量	169
1-2-1	放射性気体廃棄物	169
1-2-2	放射性液体廃棄物	170
参考1	原子力機構再処理施設排水環境影響詳細調査結果	172

参考 2	主要施設運転状況	175
別表 1	環境試料の核種濃度検出限界	177
別表 2	排水中の全 $\beta$ ・全 $\gamma$ 検出限界	178
別表 3	排気の不検出分放出量算出方法	179
別表 4	排水の不検出分放出量算出方法	182
	〈用語・記号等の解説〉	184
	〈本報告書の解説〉	187
《参考資料》		
1	線量評価について	192
2	環境放射能測定データ報告要領（抜粋）	200
3	線量算出要領（抜粋）	202

本報告書をご覧になる参考として  
184ページに、〈用語・記号等の解説〉  
187ページに、〈本報告書の解説〉  
を掲載してあります。



## 第158報（平成23年度第3四半期環境放射線監視結果）



# I 監視結果の評価

茨城県環境放射線監視計画に基づく監視結果は下記のとおりである。

## 記

### 1 短期的変動調査結果（平成23年10月～平成23年12月）

福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、空間ガンマ線量率が平常の変動幅を大きく上回った。また、同様に、大気塵埃及び降下塵から<sup>137</sup>Csなどの放射性核種が検出された。

さらに、原子力施設の排気、排水からも、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響による放射性核種が検出された。

なお、これらについては、県内原子力施設からの影響ではない。



## Ⅱ 監視結果の概要

### Ⅱ－１ 短期的変動調査結果

評価対象期間：平成23年10月から平成23年12月

短期的変動調査は、原子力施設から平常稼働時に放出される放射性物質の他に、事故等により環境へ放出される放射線・放射性物質の有無や環境への影響の有無を早期に把握するために行っている。

なお、空間ガンマ線量率、大気塵埃、降下塵などの測定結果において、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響がみられた。

#### １ 環境における測定結果

##### １－１ 空間ガンマ線量率測定結果（９～17ページ）

空間ガンマ線量率の測定は、76地点のモニタリングステーション、モニタリングポストにおいて行っている。評価の対象となっている月平均値は、59nGy/時～590nGy/時の間にあり、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、平常の変動幅（上限値：100nGy/時）を大きく上回った。

なお、1時間値の最大値(原子力機構原科研測定周辺の監視区域境界(MP-19)：10月)は620nGy/時であった。

一般環境（事業所周辺監視区域境界及び敷地内を除く）

(単位：nGy/時)

地 区 名	月平均値	1時間値の最大値
東海地区 <21> (東海村, 那珂市, 常陸大宮市)	65~150	160 (豊岡:10月)
日立地区 <6> (日立市, 常陸太田市)	59~150	160 (久慈:10月, 11月, 12月)
ひたちなか地区 <8> (ひたちなか市)	78~150	160 (常陸那珂:10月,11月,12月)
大洗地区 <15> (大洗町, 銚田市, 茨城町, 水戸市(大場, 吉沢))	65~160	170 (成田(P-4):10月)
比較対照地区 <1> (水戸市石川)	79~81	93 (10月)

注) < >内は地点数

事業所周辺監視区域境界

(単位：nGy/時)

地 区 名	月平均値	1時間値の最大値
東海地区 <14> (原子力機構原科研, 原子力機構サイクル工研, 原電)	110~590	620 (原科研 MP-19:10月)
大洗地区 <11> (原子力機構大洗)	100~390	400 (P-11:10月, 11月, 12月)

注) < >内は地点数

## 1-2 大気中放射能測定結果

### 1-2-1 大気塵埃中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他) (18~19ページ)

東海村須和間など15地点（東海村6地点、ひたちなか市3地点、日立市1地点、鉾田市1地点、茨城町1地点、大洗町2地点、水戸市1地点）において測定した結果、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、 $^{137}\text{Cs}$ が14地点で検出された。

### 1-2-2 降下塵中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他) (20ページ)

水戸市愛宕町など3地点において測定した結果、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、 $^{137}\text{Cs}$ が全地点で検出された。

## 1-3 農畜産物中の放射能測定結果

### 1-3-1 牛乳（原乳）中の放射性核種分析結果 ( $^{131}\text{I}$ )

今期は県内全域で実施。（資料No. 2 特別調査結果の概要参照）

## 1-4 海洋における放射能測定結果

### 1-4-1 海水中の放射性核種分析結果

今期は県内全域で実施。（資料No. 2 特別調査結果の概要参照）

## 2 主な原子力施設の敷地内における測定結果

### 2-1 空間ガンマ線量率測定結果 (21ページ)

評価対象としている月平均値は、原子力機構サイクル工研が99nGy/時から100nGy/時、原子力機構大洗が140nGy/時から150nGy/時であり、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、平常の変動幅（上限値：100nGy/時）を大きく上回った。

なお、1時間値の最大値（原子力機構大洗測定のパ-8：10月）は170nGy/時であった。

（単位：nGy/時）

地 区 名	月平均値	1時間値の最大値
東海地区 <1>（原子力機構サイクル工研）	99~100	110（10月、11月、12月）
大洗地区 <1>（原子力機構大洗）	140~150	170（10月）

注) < >内は地点数

### 2-2 大気中放射能測定結果

#### 2-2-1 大気塵埃中の放射性核種分析結果 ( $^{54}\text{Mn}$ 他) (22ページ)

原子力機構原科研など3地点において測定した結果、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、原子力機構サイクル工研及び原子力機構大洗から、 $^{137}\text{Cs}$ が検出された。

## 3 放出源における測定結果

### 3-1 排気中の放射能測定結果

排気中に含まれる放射性物質については、原子力事業者が放射性核種分析、全ベータ放射能測定、全アルファ放射能測定を行っている。

福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により全ベータ放射能が検出された。全ア

ルファ放射能については不検出であった。

### 3-1-1 放射性核種分析結果（主要放出核種）（23～33ページ）

測定対象の42排気筒のうち、今期に放出のなかった5排気筒を除いた原子力機構燃料試験施設、原子力機構サイクル工研再処理施設の主排気筒など37排気筒において希ガス（<sup>41</sup>Ar、<sup>85</sup>Krなど）、<sup>3</sup>Hなど各施設の放出核種を測定したところ、下記の7排気筒で検出された。

（検出状況）

測定者	施設名	核種名	3ヶ月平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	3ヶ月平均濃度 過去最大値 (Bq/cm <sup>3</sup> )	参考 管理の目標値 (Bq/cm <sup>3</sup> )
原子力機構 原 科 研	J R R - 3	<sup>3</sup> H	$5.5 \times 10^{-5}$	$5.3 \times 10^{-4}$	$6.0 \times 10^{-3}$
原子力機構 サイクル工研	再処理施設・主排気筒	<sup>85</sup> Kr <sup>3</sup> H	$2.4 \times 10^{-3}$ $1.7 \times 10^{-4}$	9.0 $2.6 \times 10^{-3}$	$4.1 \times 10$ $2.4 \times 10^{-1}$
原子力機構 大 洗	F M F	希ガス	$7.8 \times 10^{-5}$	$5.7 \times 10^{-3}$	$2 \times 10^{-2}$
三 菱 原 燃	転換工場	U	$1.0 \times 10^{-10}$	$2.7 \times 10^{-10}$	$1.5 \times 10^{-9}$
積 水 メ デ ィ カ ル	第4棟排気筒	<sup>3</sup> H <sup>14</sup> C	$1.9 \times 10^{-5}$ $4.9 \times 10^{-6}$	$2.2 \times 10^{-5}$ $2.3 \times 10^{-5}$	$7.4 \times 10^{-4}$ $1.6 \times 10^{-4}$
N D C	化学分析棟（R棟）	<sup>131</sup> I	$1.4 \times 10^{-9}$	$2.1 \times 10^{-8}$	$7.4 \times 10^{-8}$
日 本 核 燃	照射後試験施設	希ガス	$1.0 \times 10^{-3}$	$5.0 \times 10^{-3}$	$5.2 \times 10^{-3}$

### 3-1-1' 放射性核種分析結果（その他検出された核種）（34ページ）

原電東海発電所、東海第二発電所から<sup>3</sup>Hが検出されたが、過去と同じレベルであった。

### 3-1-2, 3-1-2' 全ベータ放射能測定結果（35～37ページ）

NDC材料試験棟及び原子力機構原科研JRR-3など23排気筒において測定した結果2排気筒で検出された。

この内、三菱材料に関しては、福島第一原子力発電所事故の放射性物質放出の影響によるものである。

### 3-1-3 全アルファ放射能測定結果（38ページ）

核管センター開発棟など4排気筒における測定結果は、いずれも不検出であった。

## 3-2 排水中の放射能測定結果

排水中に含まれる放射性物質の測定は、放射性核種分析、全ベータ放射能測定、再処理施設排水中の放射性核種分析、再処理施設排水中の全ベータ放射能測定、排水中の全ガンマ放射能測定によって行っている。

福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、<sup>134</sup>Cs、<sup>137</sup>Cs及び全ガンマ放射能が検出された。

### 3-2-1 放射性核種分析結果（主要放出核種）（39～44ページ）

原子力事業者は、今期に放出のなかった三菱材料及び住友鉱山を除く原子力機構原科研第

1 排水溝，原子力機構サイクル工研第 2 排水溝など15排水溝において<sup>60</sup>Coなどの核種を測定している。下記の 5 排水溝で検出されたが，全て法令値（52ページ）以下であった。

（検出状況）

測定者	排水溝名	核種名	3ヶ月平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	法令値 (Bq/cm <sup>3</sup> )	3ヶ月平均濃度 /法令値
原子力機構 原 科 研	第 2 排水溝	<sup>3</sup> H	$1.4 \times 10^{-2}$	$6 \times 10^{*3)}$	1/4,300
		<sup>7</sup> Be	$8.4 \times 10^{-5}$	$3 \times 10$	1/357,000
		<sup>60</sup> Co	$1.4 \times 10^{-5}$	$2 \times 10^{-1}$	1/14,000
		<sup>137</sup> Cs <sup>*1)</sup>	$2.9 \times 10^{-5}$	$9 \times 10^{-2}$	1/3,100
原子力機構 大 洗	北地区	<sup>3</sup> H	$5.6 \times 10^{-2}$	$6 \times 10^{*3)}$	1/1,100
原 電	東海第二発電所	<sup>3</sup> H	$1.2 \times 10^{-1}$	$6 \times 10^{*3)}$	1/500
原 燃 工	排水ポンド	Th, Pa <sup>*2)</sup>	$7.5 \times 10^{-4}$	$2 \times 10^{-1}$	1/270
積水メディカル	調整槽	<sup>3</sup> H	$8.5 \times 10^{-1}$	$2 \times 10^{*4)}$	1/24
		<sup>14</sup> C	1.1	2	1/1.8

注) \*1) 福島第一原子力発電所事故の放射性物質放出の影響を含む。

\*2) Uの娘核種であるTh, Paを全ベータ測定で確認しているが，Uは検出されていないことから，福島第一原子力発電所事故で放出された<sup>134</sup>Cs, <sup>137</sup>Csなどの影響により検出されたものである。

\*3) 水としての法令値

\*4) 有機物（メタンを除く）としての法令値

### 3-2-1' 放射性核種分析結果（主要放出核種）（45～49ページ）

県は原子力機構原科研第 1 排水溝など12排水溝で測定している。原子力機構原科研第 2 排水溝など 9 排水溝で <sup>3</sup>H, <sup>14</sup>C, <sup>60</sup>Co, <sup>137</sup>Cs, UまたはPu(α)の 6 核種が検出されたが，いずれも法令値以下であった。

また，水戸原子力事務所は原子力機構原科研第 1 排水溝など 7 排水溝で測定している。原子力機構原科研第 2 排水溝など 5 排水溝で <sup>3</sup>H, <sup>14</sup>Cまたは<sup>137</sup>Csの 3 核種が検出されたが，いずれも法令値以下であった。

### 3-2-1'' 放射性核種分析結果（その他検出された核種）（50～51ページ）

原子力事業者が測定した上記15排水溝において，主要放出核種以外の核種として原子力機構原科研第 1 排水溝など 4 排水溝で，<sup>22</sup>Na, <sup>90</sup>Sr, <sup>134</sup>Cs, <sup>137</sup>Cs及び<sup>232</sup>Thの 5 核種が検出されたが，いずれも法令値以下であった。

なお，原子力機構原科研第 2 排水溝において検出された<sup>134</sup>Cs及び原子力機構原科研第 3 排水溝，サイクル工研第 1 排水溝において検出された<sup>134</sup>Cs, <sup>137</sup>Csは福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響である。

### 3-2-2, 3-2-2' 全ベータ放射能測定結果（53～55ページ）

原子力事業者，県などは今期に放出のなかった住友鉱山を除く原子力機構原科研第 1 排水溝及び原子力機構サイクル工研第 1 排水溝など12排水溝において測定している。原子力機構原科研第 1 排水溝等の11排水溝で検出されたが，監視委員会が定めた判断基準を全て下回っていた。

### 3-2-3 再処理施設排水中の放射性核種分析結果（56～59ページ）

原子力機構サイクル工研が <sup>3</sup>Hなど14核種について分析した結果，<sup>3</sup>H, <sup>129</sup>I 及びPu(α)が検出さ



れたが、法令値（60ページ）以下であった。

また、県が<sup>3</sup>Hなど9核種について測定した結果、<sup>3</sup>H、<sup>137</sup>Cs及びPu(α)の3核種が検出されたが、いずれも法令値以下であった。

(検出状況)

測定者	排水溝名	核種名	3ヶ月放出量 (MBq)	法令値 (MBq)	3ヶ月放出量 /法令値
原子力機構 サイクル工研	再処理施設	<sup>3</sup> H	$8.5 \times 10^3$	$4.7 \times 10^8$	1/55,000
		<sup>129</sup> I	2.2	$6.7 \times 10^3$	1/3,000
		Pu(α)	$7.2 \times 10^{-2}$	$5.9 \times 10^2$	1/8,200

備考 県の測定では、<sup>3</sup>H、<sup>137</sup>Cs、Pu(α)を検出。3ヶ月間の最大濃度はそれぞれ4.0、 $1.4 \times 10^{-4}$ 、 $7.0 \times 10^{-5}$  Bq/cm<sup>3</sup>であり、参考として法令（保安規定）に定める最大放出濃度（それぞれ $2.5 \times 10^4$ 、 $7.8 \times 10^{-1}$ 、 $3.0 \times 10^{-2}$  Bq/cm<sup>3</sup>）と比較すると、それぞれ1/6,000、1/5,500、1/400 以下であった。

#### 3-2-4 再処理施設排水中の全ベータ放射能測定結果（61ページ）

県測定で検出されたが、再処理排水に係わる低減化目標値以下であった。

#### 3-2-5 排水中の全ガンマ放射能連続測定結果（62ページ）

原子力機構原科研第2排水溝などの4排水溝で測定したところ、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、3排水溝で検出された。

参考 1

原子力機構再処理施設排水環境影響詳細調査結果 (64～66ページ)

本調査は、原子力機構サイクル工研が、再処理施設の低レベル放射性廃液の海洋放出に伴う同海域における放射能水準の変動を詳細に把握するために毎月実施しているものであり、放出口を中心とした30地点で海水を採取し、全地点で全ベータ放射能及び<sup>3</sup>H濃度、7地点で<sup>137</sup>Cs濃度の測定を行っている。

調査の結果、放射性物質濃度の平均値は、全ベータ放射能について0.044 Bq/L、<sup>3</sup>Hについて検出限界値未満、<sup>137</sup>Csについて0.076 Bq/Lであった。検出された全ベータ放射能、<sup>137</sup>Csは福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響を含む。

(測定結果)

区 分	地点数	分 析 値
海水の全ベータ放射能	30	0.044 Bq/L
海水中の <sup>3</sup> H分析	30	不検出
海水中の <sup>137</sup> Cs分析	7	0.076 Bq/L

### Ⅲ 測定結果

#### Ⅲ-1 短期的変動調査結果

##### 1 環境における測定結果

##### 1-1 空間 $\gamma$ 線量率測定結果

##### 1-1-1 モニタリングステーション

測定者	評価対象	平常の変動幅（上限）
県 施設者	月平均値	100nGy/時

測定者	測定地点	測定値 (nGy/時)				
		種別	10月	11月	12月	平均
県	東海村石神	最大	120	110	110	
		平均	110	100	100	100
	〃 豊岡	最大	110	110	110	
		平均	98	97	96	97
	〃 舟石川	最大	78	76	76	
		平均	67	66	66	66
	〃 押延	最大	90	88	90	
		平均	78	78	77	78
	〃 村松	最大	100	96	89	
		平均	89	82	78	83
	〃 三菱原燃	最大	78	77	77	
		平均	68	67	67	67
	〃 原燃工	最大	130	130	130	
		平均	120	120	120	120
	那珂市横堀	最大	82	81	81	
		平均	72	71	71	71
	〃 門部	最大	86	84	84	
		平均	76	75	74	75
	〃 菅谷	最大	78	79	78	
		平均	68	67	67	67
〃 本米崎	最大	84	83	84		
	平均	74	73	72	73	
〃 額田	最大	82	79	83		
	平均	71	71	71	71	
〃 鴻巣	最大	82	78	81		
	平均	68	67	66	67	

測定者	測定地点	測定値 (nGy/時)				
		種別	10月	11月	12月	平均
県	那珂市後台	最大	92	88	89	
		平均	78	77	77	77
	〃 瓜連	最大	84	83	85	
		平均	73	72	72	72
	ひたちなか市馬渡	最大	120	120	120	
		平均	110	110	100	110
	〃 常陸那珂	最大	160 (注2)	160 (注2)	160 (注2)	
		平均	150	150	140	150
	〃 阿字ヶ浦	最大	120	120	110	
		平均	100	100	99	100
	〃 堀口	最大	130	130	130	
		平均	120	120	120	120
	〃 佐和	最大	110	110	110	
		平均	97	96	94	96
	〃 柳沢	最大	96	97	96	
		平均	86	86	85	86
	日立市久慈	最大	160 (注3)	160 (注3)	160 (注3)	
		平均	150	150	140	150
	〃 大沼	最大	150	150	150	
		平均	140	140	140	140
	常陸太田市磯部	最大	87	85	88	
		平均	76	74	73	74
	〃 真弓	最大	76	71	76	
		平均	64	64	63	64
	〃 久米	最大	69	68	73	
		平均	59	59	59	59
	常陸大宮市根本	最大	77	77	78	
		平均	65	65	65	65
大洗町大貫	最大	130	110	120		
	平均	110	100	99	100	
〃 磯浜	最大	120	100	110		
	平均	97	95	94	95	

測定者	測定地点	測定値 (nGy/時)				
		種別	10月	11月	12月	平均
県	鉦田市造谷	最大	150	140	140	
		平均	140	130	130	130
	〃 荒地	最大	130	120	130	
		平均	110	110	110	110
	〃 田崎	最大	110	100	110	
		平均	96	95	93	95
	〃 縦山	最大	130	130	140	
		平均	120	120	120	120
	〃 上富田	最大	110	100	110	
		平均	95	94	92	94
	〃 徳宿	最大	100	94	110	
		平均	91	90	89	90
	茨城町広浦	最大	140	130	140	
		平均	120	120	120	120
	〃 海老沢	最大	110	110	110	
		平均	95	93	92	93
	〃 谷田部	最大	89	87	91	
		平均	78	78	77	78
水戸市吉沢	最大	80	76	80		
	平均	67	66	65	66	
〃 大場	最大	97	97	93		
	平均	83	82	81	82	
〃 石川	最大	93 (注4)	88	89		
	平均	81	80	79	80	
原子力機構原科研	東海村須和間	最大	120	110	120	
		平均	110	100	100	100
	〃 亀下	最大	140	140	140	
		平均	130	130	130	130
原子力機構サイクル工研	〃 舟石川	最大	90	89	89	
		平均	80	79	78	79
	ひたちなか市長砂	最大	120	110	110	
		平均	100	100	98	99
	〃 高野	最大	92	88	90	
		平均	81	79	78	79

測定者	測定地点	測定値 (nGy/時)				
		種別	10月	11月	12月	平均
原子力 機構大洗	周辺監視区域境界 (P-2)	最大	210	190	200	
		平均	190	180	180	180
	〃 (P-6)	最大	120	120	120	
		平均	110	110	100	110
原 電	東海村船場	最大	80	78	78	
		平均	71	70	69	70
	日立市留	最大	100	100	100	
		平均	93	91	90	91

(注1) 福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響を含む。

(注2) ひたちなか地区の一般環境における1時間値の最大値160nGy/時(県測定:ひたちなか市常陸那珂)が観測されたのは、10月5日14時、11月20日18時、12月1日5時であり、降雨の影響である。

(注3) 日立地区の一般環境における1時間値の最大値160nGy/時(県測定:日立市久慈)が観測されたのは、10月5日13時、11月20日18時、12月16日16時であり、降雨の影響である。

(注4) 比較対照地点における1時間値の最大値93nGy/時(県測定:水戸市石川)が観測されたのは、10月5日15時であり、降雨の影響である。

1-1-2 モニタリングポスト

測定者	評価対象	平常の変動幅 (上限)
施設者	月平均値	100nGy/時

測定者	測定地点	測定値 (nGy/時)				
		種別	10月	11月	12月	平均
原子力機構 原科研	周辺監視区域境界 (MP-11)	最大	220	220	210	
		平均	220	210	200	210
	〃 (MP-16)	最大	270	250	240	
		平均	250	240	230	240
	〃 (MP-17)	最大	200	190	190	
		平均	190	180	180	180
	〃 (MP-18)	最大	440	430	420	
		平均	430	420	410	420
	〃 (MP-19)	最大	620 (注2)	580	560	
		平均	590	560	540	560
原子力機構 サイクル工研	周辺監視区域境界 (MP-1)	最大	210	200	190	
		平均	190	190	180	190
	〃 (MP-6)	最大	180	170	170	
		平均	160	160	160	160
	〃 (ST-5)	最大	160	160	160	
		平均	150	140	140	140
	〃 (MP-7)	最大	250	240	240	
		平均	240	230	230	230
	〃 (MP-8)	最大	220	210	210	
		平均	210	200	200	200
原子力機構 大洗	周辺監視区域境界 (P-1)	最大	180	170	170	
		平均	160	160	150	160
	大洗町成田 (P-3)	最大	130	130	130	
		平均	120	110	110	110
	〃 (P-4)	最大	170 (注3)	160	160	
		平均	160	150	150	150
	周辺監視区域境界 (P-5)	最大	170	150	150	
		平均	150	140	140	140
	〃 (P-7)	最大	260	240	240	
		平均	240	240	220	230

測定者	測定地点	測定値 (nGy/時)				
		種別	10月	11月	12月	平均
原子力機構大洗	周辺監視区域境界 (P-11)	最大	400 <sup>(注4)</sup>	400 <sup>(注4)</sup>	400 <sup>(注4)</sup>	
		平均	370	390	380	380
	〃 (P-12)	最大	360	340	330	
		平均	340	330	320	330
	〃 (P-13)	最大	190	210	190	
		平均	170	180	180	180
	〃 (P-14)	最大	210	200	200	
		平均	200	190	190	190
	〃 (P-15)	最大	210	200	200	
		平均	190	190	180	190
	〃 (P-16)	最大	170	150	150	
		平均	150	150	140	150
原電	周辺監視区域境界 (A)	最大	120	120	110	
		平均	110	110	110	110
	〃 (B)	最大	170	170	170	
		平均	160	160	160	160
	〃 (C)	最大	170	160	160	
		平均	160	160	150	160
	〃 (D)	最大	230	210	210	
		平均	210	210	200	210
東海村豊岡	最大	160 <sup>(注5)</sup>	150	150		
	平均	150	140	140	140	

(注1) 福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響を含む。

(注2) 東海地区の事業所周辺監視区域境界における1時間値の最大値620nGy/時(原子力機構原科研測定:MP-19)が観測されたのは、10月4日7時であり、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響によるものである。

(注3) 大洗地区の一般環境における1時間値の最大値170nGy/時(原子力機構大洗測定:大洗町成田(P-4))が観測されたのは、10月5日13時及び14時であり、降雨の影響である。

(注4) 大洗地区の事業所周辺監視区域境界における1時間値の最大値400nGy/時(原子力機構大洗測定:P-11)が観測されたのは、10月29日8時、11月6日10時及び12月1日10時であり、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響及び降雨の影響である。

(注5) 東海地区の一般環境における1時間値の最大値160nGy/時(原電測定:東海村豊岡)が観測されたのは、10月5日13時であり、降雨の影響である。



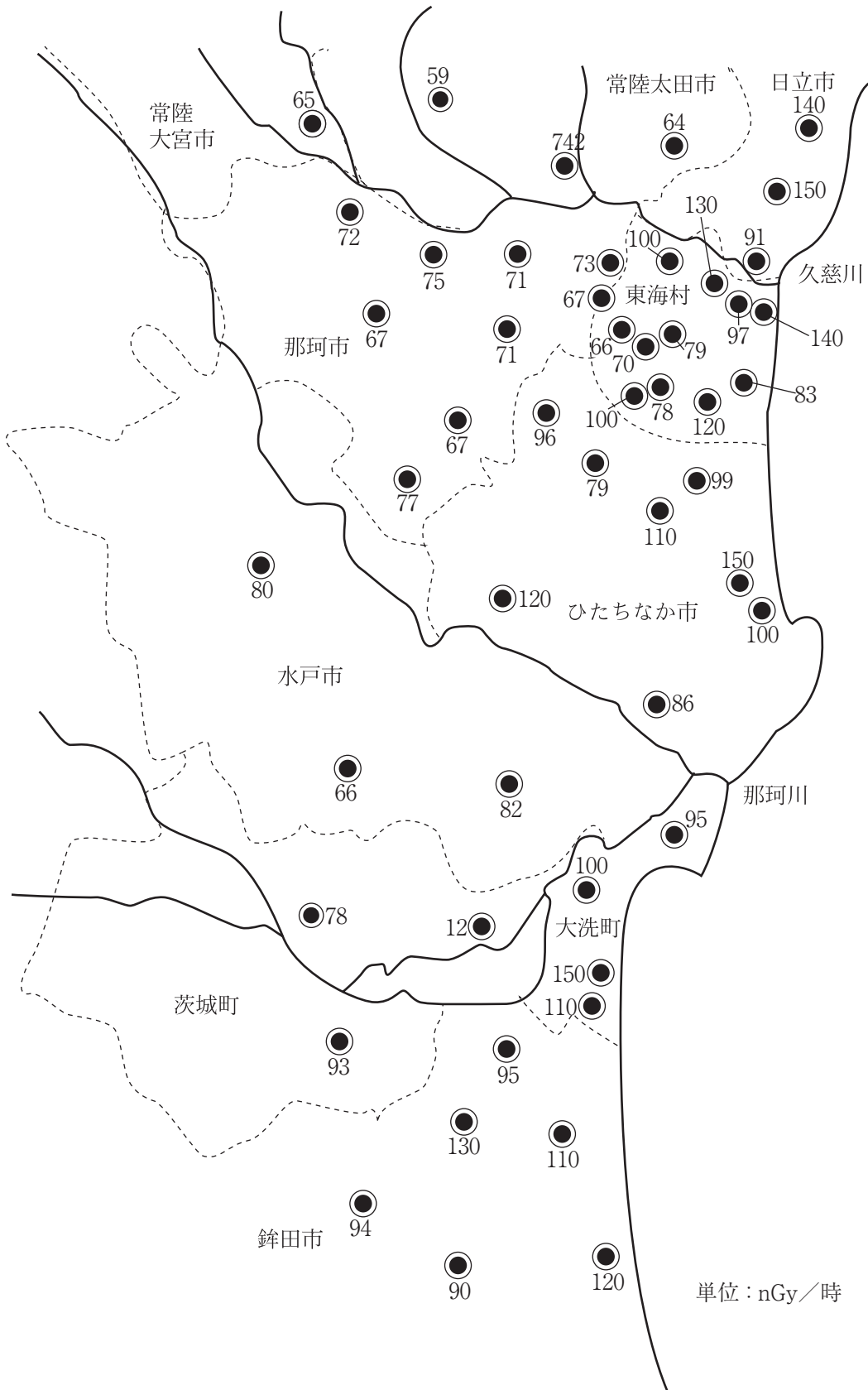


図 環境における空間 $\gamma$ 線量率測定結果（3ヶ月平均値）  
 （周辺監視区域境界を除く）

# 平成23年度第3四半期におけるモニタリングステーション, モニタリングポストにおいて測定した空間線量率の経月変化

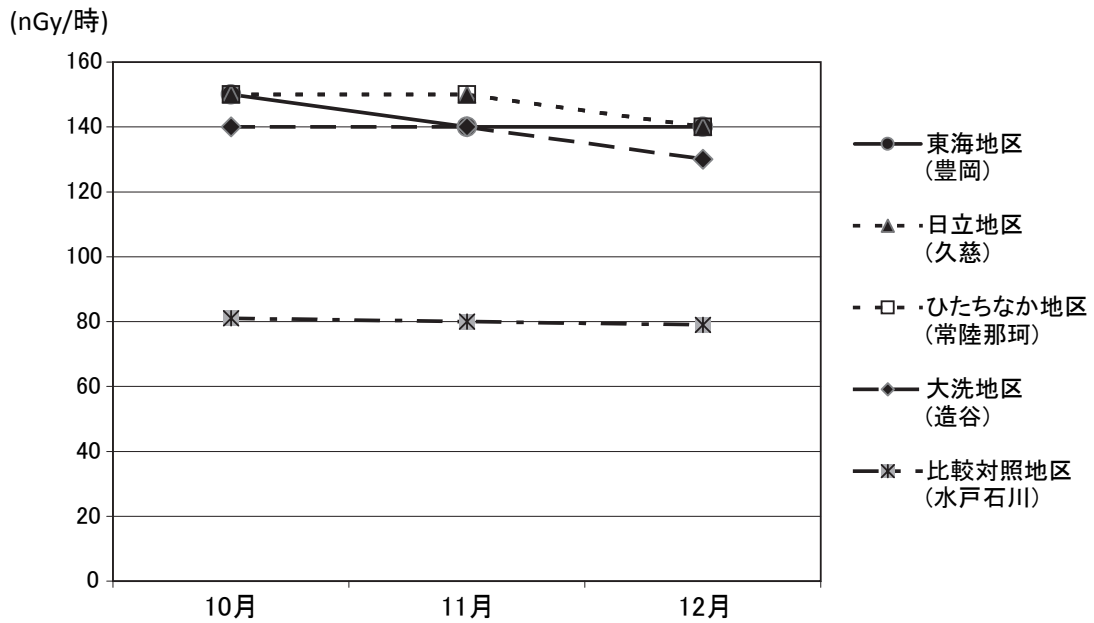


図1 空間ガンマ線量率測定結果の一般環境における月平均値の経月変化

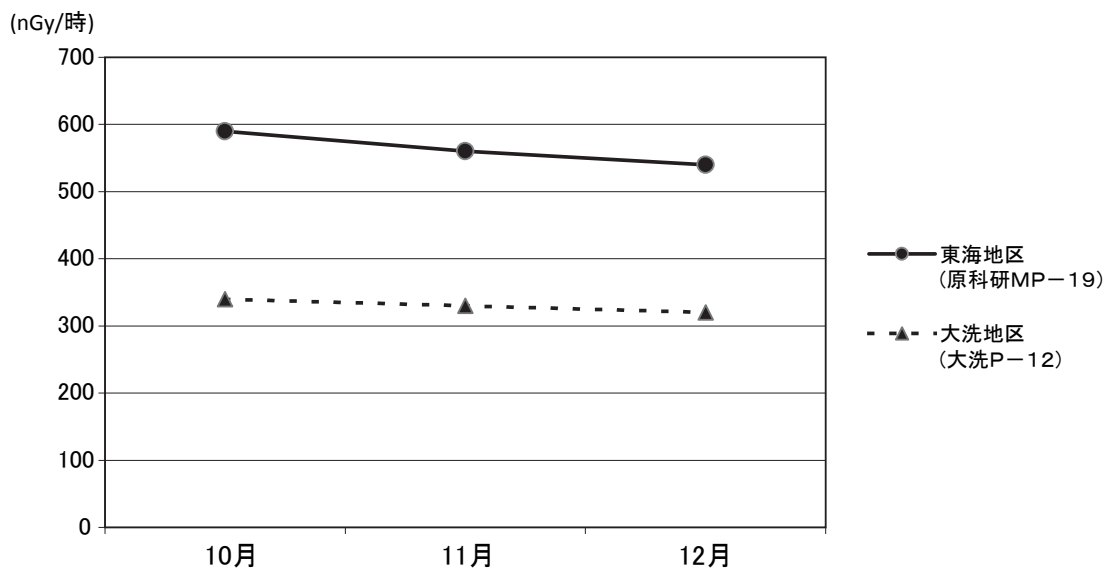
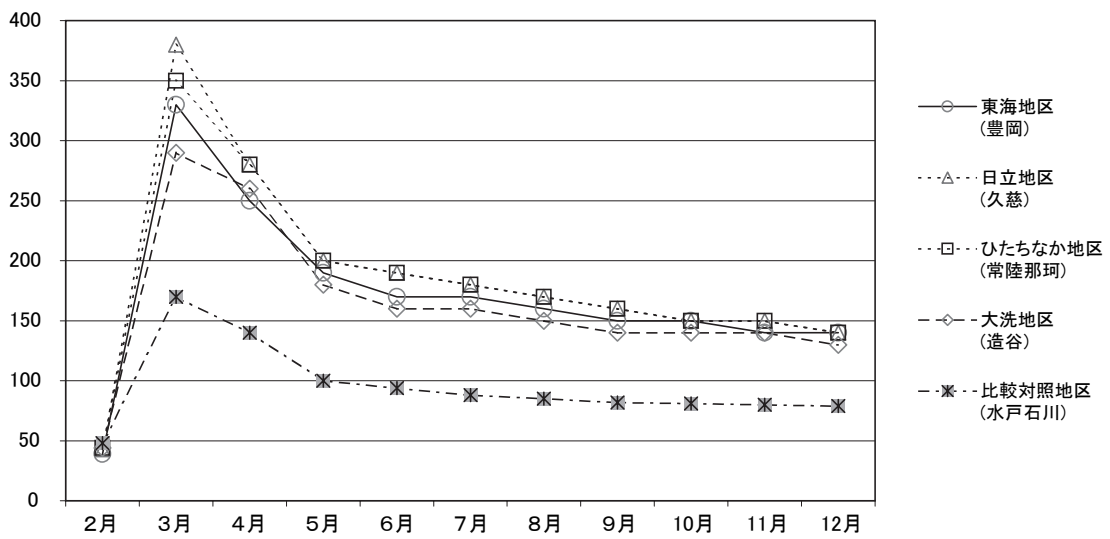
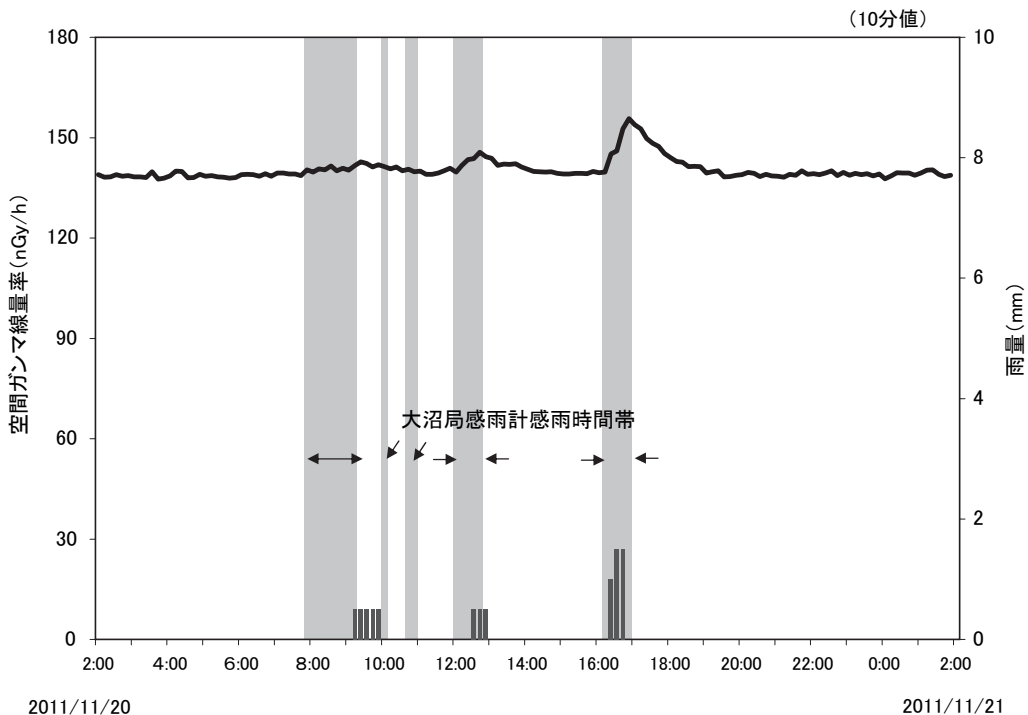


図2 空間ガンマ線量率測定結果の事業所周辺監視区域境界の経月変化

空間ガンマ線量率測定結果の一般環境における月平均値の経月変化  
(福島第一原子力発電所事故前(2月)から12月まで)



今期の測定の中で降雨によって最大値が観測された局における空間線量率の時系列(大沼局)



注)

当該グラフにおける空間ガンマ線量率の上昇の原因は降雨によるもの。  
降雨により空間線量率が上昇するのは、自然放射性核種(ラドンとトリウムから生まれた核種)が雨により地表に落下するためであり、それらの核種の半減期は短いことから、雨が止んでから短時間で線量率は降雨前の水準に戻る。

1-2 大気中放射能測定結果

1-2-1 大気塵埃中の放射性核種分析結果 (<sup>54</sup>Mn他)

測定者	採取地点	採取月日	核種・分析値 (mBq/m <sup>3</sup> )								
			<sup>54</sup> Mn	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce	Pu	
県	水戸市 石川	10. 1~11. 1	×	×	×	×	×	0.58	×		
		11. 1~12. 1	×	×	×	×	×	0.28	×		
		12. 1~ 1. 1	×	×	×	×	×	0.54	×		
	東海村 村松	10. 1~11. 1	×	×	×	×	×	1.7	×		
		11. 1~12. 1	(注3)								
		12. 1~ 1. 1	×	×	×	×	×	0.37	×		
	ひたちなか市 常陸那珂	10. 1~11. 1	×	×	×	×	×	1.8	×		
		11. 1~12. 1	(注3)								
		12. 1~ 1. 1	×	×	×	×	×	0.26	×		
	茨城町 広浦	10. 1~11. 1	×	×	×	×	×	1.6	×		
		11. 1~12. 1	×	×	×	×	×	1.5	×		
		12. 1~ 1. 1	×	×	×	×	×	0.58	×		
	鉾田市 造谷	10. 1~11. 1	×	×	×	×	×	1.4	×		
		11. 1~12. 1	×	×	×	×	×	0.66	×		
		12. 1~ 1. 1	×	×	×	×	×	0.43	×		
原子力 機構 原子研	周辺監視区域境界 (MS-2)	10. 3~10.31	×	×	×	×	×	×	×		
		10.31~11.28	×	×	×	×	×	×	×		
		11.28~ 1. 2	×	×	×	×	×	×	×		
	東海村 須和間	10. 3~10.31	×	×	×	×	×	1.3	×		
		10.31~11.28	×	×	×	×	×	3.9	×		
		11.28~ 1. 2	×	×	×	×	×	0.63	×		
	〃 亀下	10. 3~10.31	×	×	×	×	×	5.5	×		
		10.31~11.28	×	×	×	×	×	2.5	×		
		11.28~ 1. 2	×	×	×	×	×	6.9	×		

測定者	採取地点	採取月日	核種・分析値 (mBq/m <sup>3</sup> )								
			<sup>54</sup> Mn	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce	Pu	
原子力 機構 サイクル 工研	東海村 舟石川	9.30~11. 1	×	×	×	×	×	×	2.1	×	×
		11. 1~12. 1	×	×	×	×	×	×	1.0	×	
		12. 1~ 1. 4	×	×	×	×	×	×	0.11	×	
	ひたちなか市長砂	9.30~11. 1	×	×	×	×	×	×	5.7	×	×
		11. 1~12. 1	×	×	×	×	×	×	1.0	×	
		12. 1~ 1. 4	×	×	×	×	×	×	0.24	×	
	〃 高野	9.30~11. 1	×	×	×	×	×	×	4.2	×	×
		11. 1~12. 1	×	×	×	×	×	×	0.26	×	
		12. 1~ 1. 4	×	×	×	×	×	×	0.32	×	
原子力 機構 大洗	周辺監視区域境界 (P-2)	10. 3~11. 1	×	×	×	×	×	×	1.5	×	/
		11. 1~12. 1	×	×	×	×	×	×	4.9	×	
		12. 1~ 1. 2	×	×	×	×	×	×	2.2	×	
	〃 (P-6)	10. 3~11. 1	×	×	×	×	×	×	1.1	×	/
		11. 1~12. 1	×	×	×	×	×	×	1.1	×	
		12. 1~ 1. 2	×	×	×	×	×	×	0.50	×	
原 電	東海村 船場	10. 5~11. 2	×	×	×	×	×	×	1.4	×	/
		11. 2~12. 7	×	×	×	×	×	×	×	×	
		12. 7~ 1. 4	×	×	×	×	×	×	0.39	×	
	日立市 留	10. 5~11. 2	×	×	×	×	×	×	0.72	×	/
		11. 2~12. 7	×	×	×	×	×	×	×	×	
		12. 7~ 1. 4	×	×	×	×	×	×	0.37	×	

(注1) 検出された核種は、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響である。

なお、このほかに<sup>134</sup>Csが検出された。

(注2) 東海村村松については、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、バックグラウンドが上昇し、<sup>95</sup>Zr、<sup>95</sup>Nb、<sup>106</sup>Ruの検出限界値が監視計画で定められている検出限界値 (p66) を上回っている。

なお、<sup>95</sup>Zr、<sup>95</sup>Nb、<sup>106</sup>Ruの検出限界値はそれぞれ 0.21mBq/m<sup>3</sup>、0.19~0.22mBq/m<sup>3</sup>、1.3mBq/m<sup>3</sup>であった。

(注3) 機器点検時に採取した試料を混入して測定したため欠測。

1 - 2 - 2 降下塵中の放射性核種分析結果 (<sup>54</sup>Mn他)

測定者	採取地点	採取月日	核種・分析値 (Bq/m <sup>2</sup> )						
			<sup>54</sup> Mn	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce
県	水戸市 愛宕町	10. 3~11. 1	×	×	×	×	×	12	×
		11. 1~12. 1	×	×	×	×	×	3.4	×
		12. 1~ 1. 4	×	×	×	×	×	5.5	×
原子力機構 原科研	内	10. 3~11. 1	×	×	×	×	×	18	×
		11. 1~12. 1	×	×	×	×	×	11	×
		12. 1~ 1. 4	×	×	×	×	×	19	×
原子力機構 大洗	内	10. 3~11. 1	×	×	×	×	×	26	×
		11. 1~12. 1	×	×	×	×	×	9.0	×
		12. 1~ 1. 4	×	×	×	×	×	22	×

(注1) 検出された核種は、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響である。なお、このほかに<sup>134</sup>Csが検出された。

## 2 敷地内における測定結果

### 2-1 空間 $\gamma$ 線量率測定結果

#### 2-1-1 モニタリングステーション

測定者	評価対象	平常の変動幅（上限）
施設者	月平均値	100nGy/時

測定者	測定地点	測定値（nGy/時）				
		種別	10月	11月	12月	平均
原子力機構 サイクル工研	S T - 1	最大	110	110	110	
		平均	100	100	99	100

（注1）測定値は福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響を含む。

（注2）最大値110nGy/時は、10月6日1時、11月20日18時、12月1日5時に観測されたものであり、降雨の影響である。

#### 2-1-2 モニタリングポスト

測定者	評価対象	平常の変動幅（上限）
施設者	月平均値	100nGy/時

測定者	測定地点	測定値（nGy/時）				
		種別	10月	11月	12月	平均
原子力機構 大洗	構内 (P-8)	最大	170	160	160	
		平均	150	150	140	150

（注1）測定値は福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響を含む。

（注2）最大値170nGy/時は、10月5日13時及び14時に観測されたものであり、降雨の影響である。

## 平成23年度第3四半期におけるモニタリングステーション、モニタリングポストにおいて測定した空間線量率の経月変化

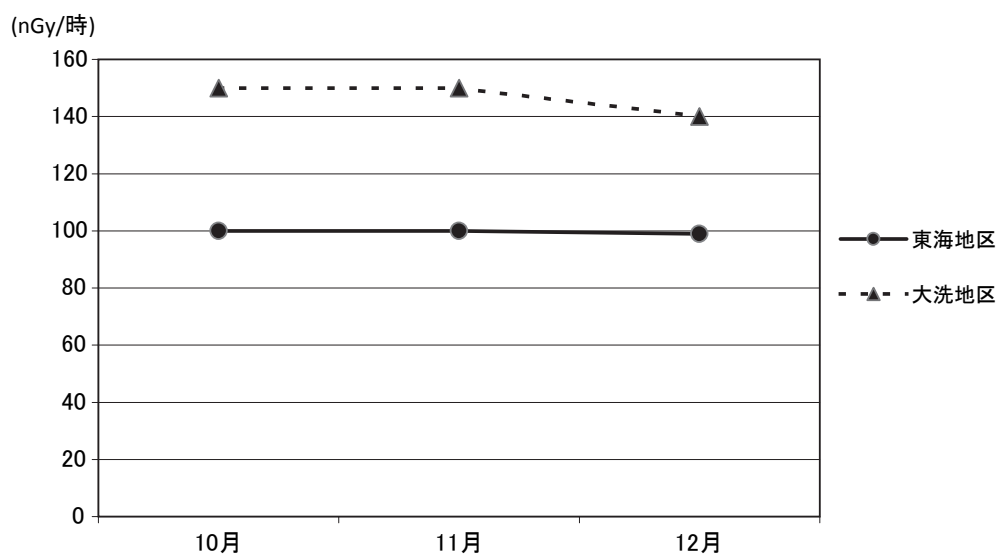


図 空間ガンマ線量率測定結果(原子力施設敷地内)における月平均値の経月変化

### 2-2 大気中放射能測定結果(敷地内)

#### 2-2-1 大気塵埃中の放射性核種分析結果(<sup>54</sup>Mn他)

測定者	採取地点	採取月日	核種・分析値 (mBq/m <sup>3</sup> )							
			<sup>54</sup> Mn	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce	Pu
原子力機構 原科研	MS-1	10.3~10.31	×	×	×	×	×	×	×	/
		10.31~11.28	×	×	×	×	×	×	×	
		11.28~1.2	×	×	×	×	×	×	×	
原子力機構 サイクル工研	ST-1	9.30~11.1	×	×	×	×	×	1.3	×	×
		11.1~12.1	×	×	×	×	×	0.29	×	
		12.1~1.4	×	×	×	×	×	0.11	×	
原子力機構 大洗	構内	10.3~11.1	×	×	×	×	×	0.19	×	/
		11.1~12.1	×	×	×	×	×	0.35	×	
		12.1~1.4	×	×	×	×	×	0.13	×	

(注) 検出された核種は、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響である。なお、このほかに<sup>134</sup>Csが検出された。



### 3 放出源における測定結果

#### 3-1 排 気

##### 3-1-1 排気中の放射性核種分析結果

(主要放出核種)

測定者	施設名	項目	放 出 状 況				分析核種 及びDL
			10 月	11 月	12 月	平 均	
(注2) 原 子 力 機 構 原 科 研	J R R - 2	最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					<sup>3</sup> H
		平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					
		放 出 量 実 測 分 (GBq)	0	0	0	計 0	
		不 検 出 分 (GBq)	0	0	0	計 0	
	J R R - 3	最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					希ガス ( <sup>41</sup> Ar)
		平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					
		放 出 量 実 測 分 (GBq)	0	0	0	計 0	1.6×10 <sup>-3</sup>
		不 検 出 分 (GBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>
		最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	6.2×10 <sup>-5</sup>	×	×		<sup>3</sup> H
		平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	6.2×10 <sup>-5</sup>	×	×	5.5×10 <sup>-5</sup>	4.3×10 <sup>-5</sup>
		放 出 量 実 測 分 (GBq)	6.1	0	0	計 6.1	~ 4.8×10 <sup>-5</sup>
		不 検 出 分 (GBq)	0	4.7	5.1	計 9.8	Bq/cm <sup>3</sup>
	J R R - 4	最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					希ガス ( <sup>41</sup> Ar)
		平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					
		放 出 量 実 測 分 (GBq)	0	0	0	計 0	1.3×10 <sup>-3</sup>
		不 検 出 分 (GBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>
	N S R R	最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					希ガス ( <sup>41</sup> Ar)
		平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					
		放 出 量 実 測 分 (GBq)	0	0	0	計 0	~ 3.6×10 <sup>-3</sup>
		不 検 出 分 (GBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>
最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×		<sup>131</sup> I	
平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	6.5×10 <sup>-9</sup>	
放 出 量 実 測 分 (GBq)		0	0	0	計 0	~ 1.8×10 <sup>-8</sup>	
不 検 出 分 (GBq)		4.6×10 <sup>-5</sup>	9.0×10 <sup>-5</sup>	7.7×10 <sup>-5</sup>	2.1×10 <sup>-4</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	

測定者	施設名	項目	放出状況				分析核種及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
(注2) 原子力 機構 原子力 研究所	燃料試験施設	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		希ガス ( <sup>85</sup> Kr) 7.3×10 <sup>-3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	~ 8.3×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
			不検出分 (GBq)	3.2×10 <sup>2</sup>	3.3×10 <sup>2</sup>	3.2×10 <sup>2</sup>	計 9.8×10 <sup>2</sup>	
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>131</sup> I 1.4×10 <sup>-9</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
	放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	~ 2.5×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		不検出分 (GBq)	7.2×10 <sup>-5</sup>	6.7×10 <sup>-5</sup>	8.9×10 <sup>-5</sup>	計 2.3×10 <sup>-4</sup>		
	燃料サイクル 安全工学 研究施設 (NUCEF)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		希ガス ( <sup>138</sup> Xe) 9.0×10 <sup>-4</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>
			不検出分 (GBq)	1.7×10 <sup>2</sup>	1.7×10 <sup>2</sup>	1.7×10 <sup>2</sup>	計 5.1×10 <sup>2</sup>	
最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×		<sup>131</sup> I 6.9×10 <sup>-10</sup>		
平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×			
放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	~ 1.1×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
	不検出分 (GBq)	1.6×10 <sup>-4</sup>	1.6×10 <sup>-4</sup>	2.0×10 <sup>-4</sup>	計 5.2×10 <sup>-4</sup>			
原子力 機構 原子力 研究所 燃料 サイクル 工学 研究 施設	再 処 理 施 設	主 排 気 筒	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	2.5×10 <sup>-3</sup>	×	<sup>85</sup> Kr 2.4×10 <sup>-3</sup>	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	2.4×10 <sup>-3</sup>	×		2.4×10 <sup>-3</sup>
			放出量	実測分 (GBq)	0	1.5	0	計 1.5
		不検出分 (GBq)		7.4×10 <sup>2</sup>	7.1×10 <sup>2</sup>	7.5×10 <sup>2</sup>	計 2.2×10 <sup>3</sup>	
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	2.0×10 <sup>-4</sup>	2.1×10 <sup>-4</sup>	1.8×10 <sup>-4</sup>		<sup>3</sup> H 3.7×10 <sup>-5</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.7×10 <sup>-4</sup>	1.8×10 <sup>-4</sup>	1.5×10 <sup>-4</sup>	1.7×10 <sup>-4</sup>		
	放出量	実測分 (GBq)	6.0×10	5.1×10	5.4×10	計 1.7×10 <sup>2</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	
		不検出分 (GBq)	0	0	0	計 0		
	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>14</sup> C 4.0×10 <sup>-5</sup>		
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
	放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>	
		不検出分 (GBq)	1.4×10	1.1×10	1.4×10	計 3.9×10		

測定者	施設名		項目	放出状況				分析核種 及びDL
				10月	11月	12月	平均	
原子力 機構 サイ クル 工 研	再 処 理 施 設	主 排 気 筒	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>131</sup> I 3.7×10 <sup>-8</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	
			放出量 実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	
			放出量 不検出分 (GBq)	1.3×10 <sup>-2</sup>	1.0×10 <sup>-2</sup>	1.3×10 <sup>-2</sup>	計 3.6×10 <sup>-2</sup>	
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>129</sup> I 3.7×10 <sup>-8</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量 実測分 (GBq)	0	0	0	計 0		
		放出量 不検出分 (GBq)	1.3×10 <sup>-2</sup>	1.0×10 <sup>-2</sup>	1.3×10 <sup>-2</sup>	計 3.6×10 <sup>-2</sup>		
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>85</sup> Kr 2.4×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量 実測分 (GBq)	0	0	0	計 0		
		放出量 不検出分 (GBq)	1.9×10 <sup>2</sup>	1.8×10 <sup>2</sup>	1.8×10 <sup>2</sup>	計 5.5×10 <sup>2</sup>		
	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>3</sup> H 3.7×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
	放出量 実測分 (GBq)	0	0	0	計 0			
	放出量 不検出分 (GBq)	3.2	2.5	3.1	計 8.8			
	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>14</sup> C 4.0×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
	放出量 実測分 (GBq)	0	0	0	計 0			
	放出量 不検出分 (GBq)	3.5	2.7	3.3	計 9.5			
	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>131</sup> I 3.7×10 <sup>-8</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
	放出量 実測分 (GBq)	0	0	0	計 0			
	放出量 不検出分 (GBq)	3.2×10 <sup>-3</sup>	2.5×10 <sup>-3</sup>	3.1×10 <sup>-3</sup>	計 8.8×10 <sup>-3</sup>			
最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>129</sup> I 3.7×10 <sup>-8</sup> Bq/cm <sup>3</sup>			
平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×				
放出量 実測分 (GBq)	0	0	0	計 0				
放出量 不検出分 (GBq)	3.2×10 <sup>-3</sup>	2.5×10 <sup>-3</sup>	3.1×10 <sup>-3</sup>	計 8.8×10 <sup>-3</sup>				

測定者	施設名		項目	放出状況				分析核種及びDL	
				10月	11月	12月	平均		
原子力機構 サイクル 工研	再処理施設	第二付属気筒	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>85</sup> Kr 2.4×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
			放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
				不検出分 (GBq)	2.2×10 <sup>2</sup>	2.2×10 <sup>2</sup>	2.3×10 <sup>2</sup>		計 6.7×10 <sup>2</sup>
			最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×			<sup>3</sup> H 3.7×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0		
			不検出分 (GBq)	3.8	3.1	3.9	計 1.1×10		
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>14</sup> C 4.0×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0	
			不検出分 (GBq)	4.1	3.4	4.2		計 1.2×10	
	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>131</sup> I 3.7×10 <sup>-8</sup> Bq/cm <sup>3</sup>			
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×				
	放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0		
		不検出分 (GBq)	3.8×10 <sup>-3</sup>	3.1×10 <sup>-3</sup>	3.9×10 <sup>-3</sup>		計 1.1×10 <sup>-2</sup>		
	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×			<sup>129</sup> I 3.7×10 <sup>-8</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×				
	放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0			
		不検出分 (GBq)	3.8×10 <sup>-3</sup>	3.1×10 <sup>-3</sup>	3.9×10 <sup>-3</sup>	計 1.1×10 <sup>-2</sup>			
	高レベル放射性物質研究施設 (CPF)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×			希ガス 〔 <sup>85</sup> Kr〕 〔 <sup>133</sup> Xe〕 2.4×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0		
			不検出分 (GBq)	1.6×10 <sup>2</sup>	1.6×10 <sup>2</sup>	1.6×10 <sup>2</sup>	計 4.8×10 <sup>2</sup>		
最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×		<sup>3</sup> H 3.7×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>			
平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×				
放出量		実測分 (GBq)	0	0	0		計 0		
	不検出分 (GBq)	2.8	2.3	2.3	計 7.4				

測定者	施設名	項目	放出状況				分析核種及びDL		
			10月	11月	12月	平均			
原子力機構サイクル工研	高レベル放射性物質研究施設(CPF)	最高濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>131</sup> I 3.7×10 <sup>-8</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
		平均濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分(GBq)	0	0	0		計 0	
			不検出分(GBq)	2.8×10 <sup>-3</sup>	2.3×10 <sup>-3</sup>	2.3×10 <sup>-3</sup>		計 7.4×10 <sup>-3</sup>	
(注3)原子力機構大洗	J M T R	最高濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		希ガス 〔主に <sup>41</sup> Ar〕 2.3×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
		平均濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分(GBq)	0	0	0		計 0	
			不検出分(GBq)	1.1×10 <sup>2</sup>	1.5×10 <sup>2</sup>	1.7×10 <sup>2</sup>		計 4.3×10 <sup>2</sup>	
	H T T R	最高濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		希ガス 〔主に <sup>88</sup> Kr〕 <sup>138</sup> Xe 2.1×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
		平均濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分(GBq)	0	0	0		計 0	
			不検出分(GBq)	1.2×10 <sup>2</sup>	1.1×10 <sup>2</sup>	1.5×10 <sup>2</sup>		計 3.8×10 <sup>2</sup>	
		最高濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×			<sup>131</sup> I 1.3×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分(GBq)	0	0	0			計 0
			不検出分(GBq)	7.1×10 <sup>-5</sup>	7.3×10 <sup>-5</sup>	9.2×10 <sup>-5</sup>			計 2.4×10 <sup>-4</sup>
	照射燃料集合体試験施設(FMF)	最高濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	2.4×10 <sup>-3</sup>			希ガス 〔主に <sup>85</sup> Kr〕 <sup>133</sup> Xe 1.2×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
		平均濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	1.6×10 <sup>-4</sup>		7.8×10 <sup>-5</sup>			
		放出量	実測分(GBq)	0	23	0		計 23	
			不検出分(GBq)	4.1	7.2	0		計 1.1×10	
	最高濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×			<sup>131</sup> I 4.7×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>			
	平均濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×		×				
	放出量	実測分(GBq)	0	0	0		計 0		
		不検出分(GBq)	微	微	0		計 微		

測定者	施設名	項目	放出状況				分析核種及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
(注3) 原子力機構大洗	高速実験炉「常陽」	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		希ガス 〔主に <sup>41</sup> Ar <sup>85</sup> Kr <sup>133</sup> Xe〕 1.3×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	1.3×10 <sup>2</sup>	1.3×10 <sup>2</sup>	1.3×10 <sup>2</sup>		計 3.9×10 <sup>2</sup>
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>131</sup> I 2.0×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	1.5×10 <sup>-4</sup>	1.5×10 <sup>-4</sup>	1.9×10 <sup>-4</sup>		計 4.9×10 <sup>-4</sup>
(注4) 原子力機構那珂	JT-60 〔臨界プラズマ〕 試験装置 実験棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					<sup>3</sup> H 1.9×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )						
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	0	0	0		計 0
(注5) 原電	東海発電所 排気筒	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>60</sup> Co 1.5×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	1.7×10 <sup>-4</sup>	1.9×10 <sup>-4</sup>	1.9×10 <sup>-4</sup>		計 5.5×10 <sup>-4</sup>
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>137</sup> Cs 1.3×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
	放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0		
		不検出分 (GBq)	1.7×10 <sup>-4</sup>	1.6×10 <sup>-4</sup>	1.7×10 <sup>-4</sup>	計 5.0×10 <sup>-4</sup>		
	東海発電所 その他排気口	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>60</sup> Co 1.6×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	1.5×10 <sup>-4</sup>	1.4×10 <sup>-4</sup>	2.0×10 <sup>-4</sup>		計 4.9×10 <sup>-4</sup>
最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×		<sup>137</sup> Cs 1.9×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×			
放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0			
	不検出分 (GBq)	1.9×10 <sup>-4</sup>	1.9×10 <sup>-4</sup>	2.4×10 <sup>-4</sup>	計 6.2×10 <sup>-4</sup>			

測定者	施設名	項目	放出状況				分析核種及びDL		
			10月	11月	12月	平均			
(注5) 原   電	東海第二 発電所	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		希ガス 〔主に <sup>85</sup> Kr <sup>133</sup> Xe〕		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	1.0×10 <sup>-3</sup>	
			不検出分 (GBq)	6.9×10 <sup>2</sup>	6.9×10 <sup>2</sup>	7.1×10 <sup>2</sup>	計 2.1×10 <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>131</sup> I		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
	放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	2.8×10 <sup>-9</sup>		
		不検出分 (GBq)	1.8×10 <sup>-3</sup>	1.8×10 <sup>-3</sup>	2.0×10 <sup>-3</sup>	計 5.6×10 <sup>-3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>		
	住友 鋳山	技術センター 排気筒	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	1.8×10 <sup>-10</sup>	
			放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>
				不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微	
(注6) J  C  O	第1管理棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	3.7×10 <sup>-10</sup>		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>	
			不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微		
	第2管理棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	3.7×10 <sup>-10</sup>		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>	
			不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微		
	第3管理棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	3.7×10 <sup>-10</sup>		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>	
			不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微		
固体廃棄物 処理棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					U			
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					3.7×10 <sup>-10</sup>			
	放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>		
		不検出分 (GBq)	0	0	0	計 0			

測定者	施設名	項目	放出状況				分析核種 及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
三  菱  原	転換工場	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	2.5×10 <sup>-10</sup>	×	×		U	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.1×10 <sup>-10</sup>	×	×	1.0×10 <sup>-10</sup>		1.0×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		放出量	実測分 (GBq)	1.8×10 <sup>-6</sup>	0	0	計 1.8×10 <sup>-6</sup>	
			不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微	
	成形工場	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		1.0×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	
			不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微	
第1廃棄物 処理所	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U		
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		1.0×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0		
		不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微		
第2廃棄物 処理所	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U		
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		1.0×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0		
		不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微		
燃  料加工 試験棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U		
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		1.0×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0		
		不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微		
積水 メ デイ カル	集合排気筒	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×			<sup>3</sup> H
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	1.9×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×			<sup>14</sup> C
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	3.7×10 <sup>-6</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微



測定者	施設名	項目	放出状況				分析核種 及びDL		
			10月	11月	12月	平均			
積水メデイカル	第4棟 気筒	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	2.4×10 <sup>-5</sup>		<sup>3</sup> H 1.9×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	2.0×10 <sup>-5</sup>	1.9×10 <sup>-5</sup>			
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	7.9×10 <sup>-3</sup>		計 7.9×10 <sup>-3</sup>	
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微	
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	4.1×10 <sup>-5</sup>		<sup>14</sup> C 3.7×10 <sup>-6</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	9.0×10 <sup>-6</sup>	4.9×10 <sup>-6</sup>			
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	7.4×10 <sup>-2</sup>		計 7.4×10 <sup>-2</sup>	
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微	
N	照射後試験棟 (F棟)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		希ガス 〔主に <sup>85</sup> Kr〕		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	2.0×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
			不検出分 (GBq)	1.1×10 <sup>2</sup>	1.1×10 <sup>2</sup>	1.0×10 <sup>2</sup>	計 3.2×10 <sup>2</sup>		
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>131</sup> I 2.5×10 <sup>-10</sup> ～		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
	放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	4.1×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
		不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微			
	D	化学分析棟 (R棟)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.5×10 <sup>-9</sup>	1.3×10 <sup>-9</sup>	×		<sup>131</sup> I 9.1×10 <sup>-10</sup> ～	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	2.0×10 <sup>-9</sup>	1.2×10 <sup>-9</sup>	×	1.4×10 <sup>-9</sup>		
			放出量	実測分 (GBq)	3.0×10 <sup>-6</sup>	6.0×10 <sup>-5</sup>	0	計 3.6×10 <sup>-5</sup>	2.0×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
				不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微	
C	ウラン実験棟 (U棟)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U 1.2×10 <sup>-10</sup> ～		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	1.8×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
			不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微		
	燃料試験棟 (A棟)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U 3.1×10 <sup>-11</sup> ～		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	5.2×10 <sup>-11</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
			不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微		

測定者	施設名	項目	放出状況				分析核種 及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
(注7) 東	原子炉棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					<sup>41</sup> Ar 4.0×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )						
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	0	0	0		計 0
大	ライナック棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>13</sup> N+ <sup>15</sup> O 2.0×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	2.2×10 <sup>-2</sup>	1.9×10 <sup>-2</sup>	8.2×10 <sup>-3</sup>		計 4.9×10 <sup>-2</sup>
原	加工工場	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U 1.3×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微
燃	廃棄物処理棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )			×		U 1.3×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )			×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微
工	HTR燃料 製造施設	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×		×		U 1.3×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×		×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微
三 菱 マ テ リ ア ル	開発試験 第I棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U 4.0×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微
開発試験 第II棟	開発試験 第II棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		U 4.0×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微

測定者	施設名	項目	放出状況				分析核種及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
(注8) 日本核燃	照射後 試験施設	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	9.4×10 <sup>-3</sup>	3.0×10 <sup>-2</sup>	2.5×10 <sup>-4</sup>		希ガス [ <sup>85</sup> Kr <sup>133</sup> Xe] 1.0×10 <sup>-4</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	6.2×10 <sup>-4</sup>	2.4×10 <sup>-3</sup>	2.7×10 <sup>-5</sup>	1.0×10 <sup>-3</sup>		
		放出量	実測分 (GBq)	1.7×10	6.5×10	7.5×10 <sup>-1</sup>	計 8.3×10	6.8×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
			不検出分 (GBq)	2.8	2.8	2.8	計 8.4	
		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>131</sup> I	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	2.2×10 <sup>-9</sup>	
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	1.9×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
			不検出分 (GBq)	5.9×10 <sup>-5</sup>	5.8×10 <sup>-5</sup>	5.8×10 <sup>-5</sup>	計 1.8×10 <sup>-4</sup>	

(注1) 平均濃度は、検出された放出量を月間排気量で除した値

(注2) 原子力機構原科研

JRR-2：10月～12月は給排気停止。

JRR-3：10月～12月は施設定期検査，原子炉停止，希ガスの放出なし。

JRR-4：10月～12月は施設定期検査，原子炉停止，希ガスの放出なし。

NSRR：10月～12月は施設定期検査，原子炉停止，希ガスの放出なし。

(注3) 原子力機構大洗

JMTR, HTTR, 高速実験炉「常陽」：10月～12月は施設定期検査。

照射燃料集合体試験施設(FMF)：10月～11月はピンパンクチャー試験。

(注4) 原子力機構那珂

JT-60実験棟：JT-60SAに向けた改造工事の準備のためJT-60の運転なし。

(注5) 原電

東海発電所その他排気口：使用済燃料冷却池建屋，サービス建屋等からの排気。

(注6) JCO

固体廃棄物処理棟：今期は核燃料物質等の処理がなく運転しなかったため，放出なし。

(注7) 東大

原子炉棟：今期は放出を伴う運転なし。

(注8) 日本核燃

10月～12月は、ピンパンクチャー試験，燃料棒切断試験及び燃料ペレット処理試験を実施。

3-1-1' 排気中の放射性核種分析結果（その他検出された核種）

測定者	施設名	項目	放出状況				分析核種及びDL
			10月	11月	12月	平均	
原電	東海発電所	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.3×10 <sup>-5</sup>	8.9×10 <sup>-6</sup>	7.1×10 <sup>-6</sup>	計 2.5	<sup>3</sup> H
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	8.8×10 <sup>-6</sup>	6.4×10 <sup>-6</sup>	5.1×10 <sup>-6</sup>		3.2×10 <sup>-7</sup>
		放出量(実測分) (GBq)	1.1	7.8×10 <sup>-1</sup>	6.5×10 <sup>-1</sup>		Bq/cm <sup>3</sup>
	東海第二発電所	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.1×10 <sup>-5</sup>	8.9×10 <sup>-6</sup>	5.4×10 <sup>-6</sup>	計 1.3×10	<sup>3</sup> H
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	8.9×10 <sup>-6</sup>	6.6×10 <sup>-6</sup>	4.5×10 <sup>-6</sup>		3.9×10 <sup>-7</sup>
		放出量(実測分) (GBq)	5.8	4.3	3.0		Bq/cm <sup>3</sup>

(注) 東海発電所：<sup>3</sup>Hは炉内グラファイトの不純物(<sup>6</sup>Li)の放射化による。

東海第二発電所：<sup>3</sup>Hは冷却材中の重水素の放射化による。

3-1-2 排気中の全β放射能測定結果

測定者	施設名	項目	放出状況				主な放出核種及びDL		
			10月	11月	12月	平均			
N	材料試験棟 (R棟)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>60</sup> Co		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	2.7×10 <sup>-10</sup>		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	4.2×10 <sup>-10</sup>	
			不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微	Bq/cm <sup>3</sup>	
	D	化学分析棟 (R棟)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>60</sup> Co	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	3.2×10 <sup>-11</sup>	
			放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	6.6×10 <sup>-11</sup>
				不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微	Bq/cm <sup>3</sup>
C	燃料試験棟 (A棟)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>60</sup> Co		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	3.6×10 <sup>-11</sup>		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	5.9×10 <sup>-11</sup>	
			不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微	Bq/cm <sup>3</sup>	
東北大	ホットラボ棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>60</sup> Co <sup>59</sup> Fe		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	2.45×10 <sup>-9</sup>	
			不検出分 (GBq)	7.1×10 <sup>-5</sup>	6.9×10 <sup>-5</sup>	7.1×10 <sup>-5</sup>	計 2.1×10 <sup>-4</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	
日揮	第2研究棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		<sup>60</sup> Co等		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×			
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0	計 0	1.8×10 <sup>-9</sup>	
			不検出分 (GBq)	9.8×10 <sup>-5</sup>	1.1×10 <sup>-5</sup>	1.1×10 <sup>-5</sup>	計 3.1×10 <sup>-5</sup>		
(注)三菱マテリアル	開発試験第IV棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	2.1×10 <sup>-9</sup>	1.8×10 <sup>-9</sup>		<sup>60</sup> Co等		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	1.6×10 <sup>-9</sup>	1.5×10 <sup>-9</sup>	1.5×10 <sup>-9</sup>	1.5×10 <sup>-9</sup>		
		放出量	実測分 (GBq)	0	3.9×10 <sup>-7</sup>	3.4×10 <sup>-7</sup>	計 7.3×10 <sup>-7</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	
			不検出分 (GBq)	微	微	微	計 微		

(注) 11月、12月の検出は、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響によるものである。

3-1-2' 排気中の全β放射能測定結果

測定者	施設名	項目	放出状況				D L	
			10月	11月	12月	平均		
(注1) 原子力 機構 原子 科 研	J R R - 2	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )						
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )						
	J R R - 3	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		7.0×10 <sup>-11</sup> ~	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	1.2×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	J R R - 4	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		8.1×10 <sup>-11</sup> ~	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	1.4×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	N S R R	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		1.7×10 <sup>-10</sup> ~	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	4.7×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	燃料試験施設	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		3.4×10 <sup>-11</sup> ~	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	6.5×10 <sup>-11</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	燃料サイクル 安全工学 研究施設 (NUCEF)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		2.2×10 <sup>-11</sup> ~	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	3.1×10 <sup>-11</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	原子力機構 サイクル工研	再処理施設 主排気筒	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		1.5×10 <sup>-9</sup>
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Bq/cm <sup>3</sup>
再処理施設 第一付属 排気筒		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		1.5×10 <sup>-9</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Bq/cm <sup>3</sup>	
再処理施設 第二付属 排気筒		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		1.5×10 <sup>-9</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Bq/cm <sup>3</sup>	
原子力機構 大洗	J M T R	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		1.1×10 <sup>-10</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Bq/cm <sup>3</sup>	
	H T T R	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		1.1×10 <sup>-10</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Bq/cm <sup>3</sup>	

測定者	施設名	項目	放出状況				D L
			10月	11月	12月	平均	
原子力機構大洗	照射燃料集合体試験施設(FMF)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		4.7×10 <sup>-11</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Bq/cm <sup>3</sup>
	高速実験炉「常陽」	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		1.4×10 <sup>-10</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Bq/cm <sup>3</sup>
(注2) 原電	東海発電所排気筒	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.3×10 <sup>-8</sup>	1.5×10 <sup>-9</sup>	6.3×10 <sup>-10</sup>		6.1×10 <sup>-10</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.2×10 <sup>-9</sup>	8.0×10 <sup>-10</sup>	6.3×10 <sup>-10</sup>	1.9×10 <sup>-9</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	東海第二発電所	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		7.5×10 <sup>-10</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Bq/cm <sup>3</sup>
	廃棄物処理建屋	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		6.0×10 <sup>-10</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Bq/cm <sup>3</sup>
東大	原子炉棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		7.0×10 <sup>-7</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Bq/cm <sup>3</sup>
NDC	照射後試験棟(F棟)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		5.3×10 <sup>-11</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	7.9×10 <sup>-11</sup> Bq/cm <sup>3</sup>

(注1) 原子力機構原科研

JRR-2：10月～12月は給排気停止。

(注2) 原電

東海発電所：熱交換器切断作業に伴う<sup>36</sup>Cl放出の影響である。

3-1-3 排気中の全α放射能測定結果

測定者	施設名	項目	放出状況				主な放出核種及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
核管センター	開発棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		Pu, U 1.1×10 <sup>-11</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微
	新分析棟	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		Pu, U 1.2×10 <sup>-11</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微
原子力機構原科研	燃料サイクル安全工学研究施設 (NUCEF)	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		Pu 9.8×10 <sup>-12</sup> ~ 1.6×10 <sup>-11</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	微	微	微		計 微
原子力機構サイクル工研	プルトニウム燃料第一開発室, プルトニウム燃料第二開発室, プルトニウム燃料第三開発室, プルトニウム廃棄物処理開発施設	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		Pu 1.5×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (GBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (GBq)	6.6×10 <sup>-5</sup>	5.3×10 <sup>-5</sup>	5.3×10 <sup>-5</sup>		計 1.7×10 <sup>-4</sup>



3-2 排水

3-2-1 排水中の放射性核種分析結果

測定者	評価対象	排出基準
施設者	月平均濃度	法令値

(主要放出核種)

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
(注1) 原子力 機構 原子 科 研	第1	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 2.4×10 <sup>-3</sup> ~ 4.2×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (MBq)	微	微	微		計 微
	第2	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.3×10 <sup>-2</sup>	4.9×10 <sup>-3</sup>	2.7×10 <sup>-2</sup>	1.4×10 <sup>-2</sup>	<sup>3</sup> H 4.4×10 <sup>-2</sup> ~ 2.3×10 <sup>-1</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		放出量	実測分 (MBq)	1.8×10 <sup>3</sup>	5.4×10 <sup>2</sup>	2.9×10 <sup>3</sup>		計 5.2×10 <sup>3</sup>
			不検出分 (MBq)	5.5×10	4.7×10	4.7×10		計 1.5×10 <sup>2</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.0×10 <sup>-4</sup>	6.0×10 <sup>-5</sup>	8.9×10 <sup>-5</sup>	8.4×10 <sup>-5</sup>	<sup>7</sup> Be 2.1×10 <sup>-2</sup> ~ 5.2×10 <sup>-2</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		放出量	実測分 (MBq)	1.1×10	3.0	3.0		計 1.7×10
			不検出分 (MBq)	3.4	4.2	6.8		計 1.4×10
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>14</sup> C 9.4×10 <sup>-2</sup> ~ 1.4×10 <sup>-1</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (MBq)	3.4×10	9.0×10	9.3×10		計 2.2×10 <sup>2</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	6.8×10 <sup>-6</sup>	2.1×10 <sup>-5</sup>	×	1.4×10 <sup>-5</sup>	<sup>60</sup> Co 2.1×10 <sup>-3</sup> ~ 4.9×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		放出量	実測分 (MBq)	2.3×10 <sup>-1</sup>	1.7×10 <sup>-1</sup>	0		計 4.0×10 <sup>-1</sup>
			不検出分 (MBq)	7.2×10 <sup>-1</sup>	2.3	1.9		計 4.9
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.6×10 <sup>-5</sup>	3.8×10 <sup>-5</sup>	×	2.9×10 <sup>-5</sup>	<sup>137</sup> Cs 4.3×10 <sup>-3</sup> ~ 5.0×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		放出量	実測分 (MBq)	1.2	2.3×10 <sup>-1</sup>			計 1.4
			不検出分 (MBq)	1.0	4.3	4.0		計 9.3

測定者	排水溝	項目		放出状況				分析核種 及びDL
				10月	11月	12月	平均	
(注1) 原子力機構原研	第3	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 2.4×10 <sup>-3</sup> ~ 3.0×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	
			不検出分 (MBq)	微	微	微	計 微	
(注2) 原子力機構サイクル工研	第2	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	Pu(a) 3.7×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	
			不検出分 (MBq)	微	微	微	計 微	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	U 1.0×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	
			不検出分 (MBq)	微	微	微	計 微	
(注3) 原子力機構大洗	北地区	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		4.7×10 <sup>-2</sup>	4.6×10 <sup>-2</sup>	8.0×10 <sup>-2</sup>	5.6×10 <sup>-2</sup>	<sup>3</sup> H 7.7×10 <sup>-2</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		放出量	実測分 (MBq)	5.2×10 <sup>3</sup>	4.3×10 <sup>3</sup>	4.0×10 <sup>3</sup>	計 1.4×10 <sup>4</sup>	
			不検出分 (MBq)	0	3.3×10 <sup>-1</sup>	3.1×10 <sup>-1</sup>	計 6.4×10 <sup>-1</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 2.7×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	
			不検出分 (MBq)	1.3	1.6	1.9	計 4.8	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	<sup>137</sup> Cs 3.9×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0		
		不検出分 (MBq)	2.2	2.6	2.8	計 7.6		
	南地区	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 1.8×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	
			不検出分 (MBq)	微	微	微	計 微	
平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	<sup>137</sup> Cs 1.8×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
放出量		実測分 (MBq)	0	0	0		計 0	
		不検出分 (MBq)	微	微	微	計 微		

測定者	排水溝	項目		放出状況				分析核種及びDL
				10月	11月	12月	平均	
(注4) 原子力機構	貯水槽	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )			×		×	<sup>3</sup> H
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	4.4×10 <sup>-2</sup>
			不検出分 (MBq)	0	3.6×10 <sup>-1</sup>	0	計 3.6×10 <sup>-1</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
(注5) 原電	東海発電所	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	<sup>60</sup> Co
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	7.2×10 <sup>-3</sup>
			不検出分 (MBq)	9.2×10 <sup>-1</sup>	8.3×10 <sup>-1</sup>	1.2	計 3.0	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	<sup>137</sup> Cs
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	8.8×10 <sup>-3</sup>
			不検出分 (MBq)	1.1	1.1	1.4	計 3.6	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	<sup>152</sup> Eu
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	3.9×10 <sup>-2</sup>
			不検出分 (MBq)	4.7	4.9	6.2	計 1.6×10	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	<sup>154</sup> Eu
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	2.1×10 <sup>-2</sup>
			不検出分 (MBq)	2.7	2.5	3.4	計 8.6	Bq/cm <sup>3</sup>
電	東海第二発電所	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		1.7×10 <sup>-1</sup>	4.5×10 <sup>-2</sup>	9.5×10 <sup>-2</sup>	1.2×10 <sup>-1</sup>	<sup>3</sup> H
		放出量	実測分 (MBq)	6.2×10 <sup>4</sup>	7.0×10 <sup>3</sup>	3.1×10 <sup>4</sup>	計 1.0×10 <sup>5</sup>	5.5×10 <sup>-2</sup>
			不検出分 (MBq)	4.5×10	4.0×10	3.7×10	計 1.2×10 <sup>2</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	<sup>54</sup> Mn
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	7.0×10 <sup>-3</sup>
			不検出分 (MBq)	1.4×10	6.2	1.2×10	計 3.2×10	Bq/cm <sup>3</sup>
平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×	×	×	×	<sup>58</sup> Co		
放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	7.0×10 <sup>-3</sup>		
	不検出分 (MBq)	1.4×10	6.4	1.1×10	計 3.1×10	Bq/cm <sup>3</sup>		

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種及びDL		
			10月	11月	12月	平均			
(注5) 原電	東海第二 発電所	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>60</sup> Co		
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	8.2×10 <sup>-3</sup>	
			不検出分 (MBq)	1.6×10	7.5	1.3×10	計 3.7×10	Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )				×	<sup>89</sup> Sr		
		放出量	実測分 (MBq)	(3ヶ月合成試料)				計 0	4.9×10 <sup>-4</sup>
			不検出分 (MBq)				計 2.2	Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )				×	<sup>90</sup> Sr		
		放出量	実測分 (MBq)	(3ヶ月合成試料)				計 0	6.4×10 <sup>-5</sup>
			不検出分 (MBq)				計 2.8×10 <sup>-1</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	
J C O	廃水ポンド	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	U		
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	7.4×10 <sup>-4</sup>	
			不検出分 (MBq)	2.1×10 <sup>-1</sup>	2.1×10 <sup>-1</sup>	2.1×10 <sup>-1</sup>	計 6.3×10 <sup>-1</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Th, Pa		
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.1×10 <sup>-3</sup>	
			不検出分 (MBq)	3.1×10 <sup>-1</sup>	3.1×10 <sup>-1</sup>	3.0×10 <sup>-1</sup>	計 9.2×10 <sup>-1</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	
(注6) 三菱 原燃	排水ポンド	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	U		
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	4.0×10 <sup>-4</sup>	
			不検出分 (MBq)	1.8	1.3	1.6	計 4.7	Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	Th, Pa		
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.0×10 <sup>-3</sup>	
			不検出分 (MBq)	4.5	3.2	3.9	計 1.2×10	Bq/cm <sup>3</sup>	
	排水貯槽	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )			×	×	U		
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	4.0×10 <sup>-4</sup>	
			不検出分 (MBq)	0	0	微	計 微	Bq/cm <sup>3</sup>	

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種及びDL		
			10月	11月	12月	平均			
(注6) 三菱原燃	排水貯槽	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )			×	×	Th, Pa		
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.0×10 <sup>-3</sup>	
			不検出分 (MBq)	0	0	微	計 微	Bq/cm <sup>3</sup>	
(注7) N D C	排水貯槽	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	0	×	×	<sup>137</sup> Cs		
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	2.5×10 <sup>-4</sup>	
			不検出分 (MBq)	微	0	微	計 微	Bq/cm <sup>3</sup>	
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.2×10 <sup>-4</sup>	
			不検出分 (MBq)	微	0	微	計 微	Bq/cm <sup>3</sup>	
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.2×10 <sup>-4</sup>	
			不検出分 (MBq)	微	0	微	計 微	Bq/cm <sup>3</sup>	
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.2×10 <sup>-3</sup>	
			不検出分 (MBq)	4.8×10 <sup>-2</sup>	0	4.8×10 <sup>-2</sup>	計 9.6×10 <sup>-2</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	U	
		(注8) 原 燃 工	排水ポンド	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	U
				放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0
不検出分 (MBq)	1.5×10 <sup>-1</sup>				1.5×10 <sup>-1</sup>	7.3×10 <sup>-2</sup>	計 3.7×10 <sup>-1</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	
放出量	実測分 (MBq)			3.0×10 <sup>-1</sup>	4.5×10 <sup>-1</sup>	9.3×10 <sup>-2</sup>	計 0.8	8.4×10 <sup>-4</sup>	
	不検出分 (MBq)			1.9×10 <sup>-1</sup>	9.5×10 <sup>-2</sup>	9.5×10 <sup>-2</sup>	計 3.8×10 <sup>-1</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	
平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.1×10 <sup>-3</sup>			1.2×10 <sup>-3</sup>	8.7×10 <sup>-4</sup>	7.5×10 <sup>-4</sup>	Th, Pa		
(注9) 三菱マテリアル	排水貯槽	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					U		
放出量		実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.2×10 <sup>-3</sup>		
		不検出分 (MBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>		

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種及びDL
			10月	11月	12月	平均	
(注9) 三菱マテリアル	排水貯槽	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					Th, Pa
		放出量 実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	4.4×10 <sup>-3</sup>
		放出量 不検出分 (MBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>
積水メデイカル	調整槽	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	7.1×10 <sup>-1</sup>	7.7×10 <sup>-1</sup>	9.9×10 <sup>-1</sup>	8.5×10 <sup>-1</sup>	<sup>3</sup> H
		放出量 実測分 (MBq)	5.5×10 <sup>2</sup>	6.0×10 <sup>2</sup>	1.3×10 <sup>3</sup>	計 2.4×10 <sup>3</sup>	2.0×10 <sup>-2</sup>
		放出量 不検出分 (MBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.0	1.1	1.1	1.1	<sup>14</sup> C
		放出量 実測分 (MBq)	8.1×10 <sup>2</sup>	8.7×10 <sup>2</sup>	1.4×10 <sup>3</sup>	計 3.1×10 <sup>3</sup>	2.0×10 <sup>-2</sup>
		放出量 不検出分 (MBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>
(注10) 住友鉱山	屋外排水槽	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					U
		放出量 実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	7.4×10 <sup>-4</sup>
		放出量 不検出分 (MBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					Th, Pa
		放出量 実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.1×10 <sup>-3</sup>
		放出量 不検出分 (MBq)	0	0	0	計 0	Bq/cm <sup>3</sup>

(注1) 原子力機構原科研

第1：希釈倍率 9.1×10<sup>2</sup>倍。

第2：希釈倍率 1.3×10<sup>2</sup>倍。10月の<sup>137</sup>Csについては福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響による。

第3：希釈倍率1.1×10倍。

(注2) 原子力機構サイクル工研

第2：Pu(α), Uは月合成試料。

(注3) 原子力機構大洗

北地区：希釈倍率 1.0×10<sup>3</sup>倍。

(注4) 原子力機構那珂

貯水槽：希釈倍率 1.7×10<sup>3</sup>倍。10月、12月は排水の放出なし。

(注5) 原電

東海発電所：希釈倍率 2.8×10倍。

東海第二発電所：希釈倍率 1.9×10<sup>2</sup>倍。

<sup>3</sup>Hは月合成試料。<sup>89</sup>Sr, <sup>90</sup>Srは3ヶ月合成試料。

(注6) 三菱原燃

排水貯槽：10月、11月は排水の放出なし。

(注7) NDC

排水貯槽：11月は排水の放出なし。

(注8) 原燃工

Uの娘核種であるTh, Paを全ベータ測定で確認しているが、Uは検出されていないことから、福島第一原子力発電所事故で放出された<sup>134</sup>Cs, <sup>137</sup>Csなどの影響により検出されたものである。

(注9) 三菱マテリアル

排水貯槽：今期は排水の放出なし。

(注10) 住友鉱山

屋外排水槽：今期は排水の放出なし。

3-2-1' 排水中の放射性核種分析結果

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種 及びDL
			10月	11月	12月	平均	
県	原子力機構 原科 研 (第 1)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 3.1×10 <sup>-5</sup>
		採水月日	10.4	11.2	12.2		3.9×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
	〃 (第 2)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	7.3×10 <sup>-4</sup>	×	1.2×10 <sup>-2</sup>	2.7×10 <sup>-2</sup>	<sup>3</sup> H 3.3×10 <sup>-4</sup> ~ 5.1×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.4	11.2	12.2		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	7.8×10 <sup>-4</sup>	1.1×10 <sup>-3</sup>	1.2×10 <sup>-3</sup>		
		採水月日	10.19	11.15	12.15		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>7</sup> Be 3.2×10 <sup>-4</sup> ~ 4.6×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.4	11.2	12.2		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		
		採水月日	10.19	11.15	12.15		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 2.8×10 <sup>-5</sup> ~ 4.4×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.4	11.2	12.2		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		
		採水月日	10.19	11.15	12.15		
	〃 (第 3)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	3.3×10 <sup>-4</sup>	1.6×10 <sup>-4</sup>	2.0×10 <sup>-4</sup>	1.9×10 <sup>-4</sup>	<sup>137</sup> Cs 4.7×10 <sup>-5</sup> ~ 9.4×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.4	11.2	12.2		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	2.4×10 <sup>-4</sup>	1.4×10 <sup>-4</sup>	7.2×10 <sup>-5</sup>		
		採水月日	10.19	11.15	12.15		
	原子力機構 サイクル工研 (第 2)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 3.0×10 <sup>-5</sup>
		採水月日	10.12	11.30	12.21		3.9×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
原子力機構 サイクル工研 (第 2)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.2×10 <sup>-5</sup>	×	1.1×10 <sup>-4</sup>	4.5×10 <sup>-5</sup>	U 9.0×10 <sup>-6</sup>	
	採水月日	10.4	11.2	12.2		2.4×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
県	原子力機構 サイクル工研 (第2)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	7.8×10 <sup>-6</sup>	※	7.9×10 <sup>-6</sup>	6.3×10 <sup>-6</sup>	Pu(α) 3.3×10 <sup>-6</sup>	
		採水月日	10.4	11.2	12.2		6.6×10 <sup>-6</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	原子力機構 大洗 (北地区)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	※	4.3×10 <sup>-4</sup>	4.7×10 <sup>-4</sup>	4.1×10 <sup>-4</sup>	<sup>3</sup> H 3.2×10 <sup>-4</sup>	
		採水月日	10.19	11.15	12.15		3.3×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	※	※	※	※	<sup>60</sup> Co 3.3×10 <sup>-5</sup>	
		採水月日	10.19	11.15	12.15		3.9×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.2×10 <sup>-4</sup>	2.9×10 <sup>-4</sup>	2.4×10 <sup>-4</sup>	3.2×10 <sup>-4</sup>	<sup>137</sup> Cs 5.0×10 <sup>-5</sup>	
		採水月日	10.19	11.15	12.15		6.8×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	原電 (東海)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	※	※	※	※	<sup>60</sup> Co 5.9×10 <sup>-5</sup>	
		採水月日	10.4	11.9	12.2		7.8×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	※	※	※		※	<sup>137</sup> Cs 1.2×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.4	11.9	12.2			2.4×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	※	※	※	1.2×10 <sup>-3</sup>		<sup>3</sup> H 3.1×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.4	11.9	12.2			4.2×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	5.3×10 <sup>-3</sup>	※	6.2×10 <sup>-4</sup>		※	<sup>54</sup> Mn 5.5×10 <sup>-5</sup>
		採水月日	10.4	11.9	12.2			8.6×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	5.2×10 <sup>-4</sup>	※	※	※			
	採水月日	10.19	11.18	12.15				
	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	※	※	※		※		
	採水月日	10.19	11.18	12.15				



測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種 及びDL
			10月	11月	12月	平均	
県	原電 (東海第二)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 6.5×10 <sup>-5</sup> ~ 1.3×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.4	11.9	12.2		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		
		採水月日	10.19	11.18	12.15		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.7×10 <sup>-4</sup>	×	×	1.7×10 <sup>-4</sup>	<sup>137</sup> Cs 1.2×10 <sup>-4</sup> ~ 2.3×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.4	11.9	12.2		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		
		採水月日	10.19	11.18	12.15		
	JCO	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.3×10 <sup>-4</sup>	1.9×10 <sup>-5</sup>	1.0×10 <sup>-4</sup>	8.3×10 <sup>-5</sup>	U 9.0×10 <sup>-6</sup> ~ 3.0×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.14	11.11	12.9		
	三菱原燃	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.6×10 <sup>-4</sup>	3.5×10 <sup>-4</sup>	4.2×10 <sup>-4</sup>	3.1×10 <sup>-4</sup>	U 2.7×10 <sup>-5</sup> ~ 4.5×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.21	11.15	12.2		
	原燃工	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	3.9×10 <sup>-5</sup>	6.8×10 <sup>-5</sup>	2.5×10 <sup>-5</sup>	4.4×10 <sup>-5</sup>	U 1.2×10 <sup>-5</sup> ~ 2.1×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.4	11.2	12.15		
	NDC (注)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	2.4×10 <sup>-4</sup>		3.3×10 <sup>-4</sup>	1.9×10 <sup>-4</sup>	<sup>60</sup> Co 3.2×10 <sup>-5</sup> ~ 5.0×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
			採水月日	10.14			
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×		×	×	<sup>58</sup> Co 3.8×10 <sup>-5</sup> ~ 4.7×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
			採水月日	10.14			
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	3.6×10 <sup>-4</sup>		1.6×10 <sup>-4</sup>	1.7×10 <sup>-4</sup>	<sup>137</sup> Cs 4.7×10 <sup>-5</sup> ~ 8.0×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
			採水月日	10.14			
積水 メデイカル	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	7.6×10 <sup>-1</sup>	7.2×10 <sup>-1</sup>	1.1	8.6×10 <sup>-1</sup>	<sup>3</sup> H 1.1×10 <sup>-1</sup> ~ 1.2×10 <sup>-1</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	採水月日	10.4	11.2	12.2			
	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.0	9.6×10 <sup>-1</sup>	1.2	1.1	<sup>14</sup> C 7.2×10 <sup>-2</sup> ~ 7.8×10 <sup>-2</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	採水月日	10.4	11.2	12.2			

(注) NDCについては、11月の排水の放出なし。

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種 及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
水戸原子力事務所	原子力機構 原科研 (第1)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 6.4×10 <sup>-5</sup>	
		採水月日	10.26	11.22	12.1		6.8×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	"	(第2)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>3</sup> H 5.5×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
			採水月日	10.26	11.22	12.1		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>7</sup> Be 1.3×10 <sup>-3</sup>	
		採水月日	10.26	11.22	12.1		1.5×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>14</sup> C 2.7×10 <sup>-3</sup>	
		採水月日	10.26	11.22	12.1		2.8×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 6.6×10 <sup>-5</sup>	
		採水月日	10.26	11.22	12.1		7.3×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	6.4×10 <sup>-4</sup>	7.7×10 <sup>-4</sup>	6.5×10 <sup>-4</sup>	6.9×10 <sup>-4</sup>	<sup>137</sup> Cs 7.2×10 <sup>-5</sup>	
		採水月日	10.26	11.22	12.1		7.8×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	"	(第3)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 6.5×10 <sup>-5</sup>
			採水月日	10.12	11.30	12.21		7.1×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
	原子力機構 大洗 (北地区)		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>3</sup> H 5.4×10 <sup>-3</sup>
			採水月日	10.19	11.8	12.1		5.5×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>60</sup> Co 6.6×10 <sup>-5</sup>	
		採水月日	10.19	11.8	12.1		6.8×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	7.4×10 <sup>-4</sup>	8.5×10 <sup>-4</sup>	1.4×10 <sup>-3</sup>	1.0×10 <sup>-3</sup>	<sup>137</sup> Cs 6.8×10 <sup>-5</sup>	
		採水月日	10.19	11.8	12.1		7.5×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
積水 メデイカル		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	6.2×10 <sup>-1</sup>	6.6×10 <sup>-1</sup>	9.2×10 <sup>-1</sup>	7.3×10 <sup>-1</sup>	<sup>3</sup> H 5.2×10 <sup>-3</sup>	
		採水月日	10.4	11.8	12.1		5.7×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種 及びDL
			10月	11月	12月	平均	
水戸原 子力 事務 所	積水 メデイカル	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	9.1×10 <sup>-1</sup>	9.3×10 <sup>-1</sup>	9.8×10 <sup>-2</sup>	6.5×10 <sup>-1</sup>	<sup>14</sup> C 2.5×10 <sup>-3</sup>
		採水月日	10.4	11.8	12.1		2.8×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
	電 (東海)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	※	※	※	※	<sup>3</sup> H 5.4×10 <sup>-3</sup>
		採水月日	10.4	11.18	12.1		5.5×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	※	※	※	※	<sup>60</sup> Co 7.5×10 <sup>-5</sup>
		採水月日	10.4	11.18	12.1		7.9×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	8.4×10 <sup>-4</sup>	7.0×10 <sup>-4</sup>	7.3×10 <sup>-4</sup>	7.6×10 <sup>-4</sup>	<sup>137</sup> Cs 7.6×10 <sup>-5</sup>
		採水月日	10.4	11.18	12.1		8.2×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
	〃 (東海第二)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	※	※	※	※	<sup>3</sup> H 5.4×10 <sup>-3</sup>
		採水月日	10.4	11.18	12.1		5.5×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	※	※	※	※	<sup>54</sup> Mn 7.0×10 <sup>-5</sup>
		採水月日	10.4	11.18	12.1		7.8×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	※	※	※	※	<sup>60</sup> Co 7.1×10 <sup>-5</sup>
		採水月日	10.4	11.18	12.1		7.9×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		9.0×10 <sup>-4</sup>	6.1×10 <sup>-4</sup>	7.2×10 <sup>-4</sup>	7.4×10 <sup>-4</sup>	<sup>137</sup> Cs 7.3×10 <sup>-5</sup>	
採水月日	10.4	11.18	12.1	7.6×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>			

3-2-1” 排水中の放射性核種分析結果

(その他検出された核種)

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種 及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
(注1) 原子力 機構 原子 科 研	第1	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	(3カ月合成試料)				4.3×10 <sup>-9</sup>	<sup>90</sup> Sr
		放出量(実測分) (MBq)					計 8.5×10 <sup>-4</sup>	5.2×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	2.5×10 <sup>-6</sup>	/	/	/	/	<sup>137</sup> Cs
		放出量(実測分) (MBq)	1.9×10 <sup>-1</sup>	/	/	計 1.9×10 <sup>-1</sup>	4.8×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	/	8.0×10 <sup>-8</sup>	/	/	/	<sup>232</sup> Th
		放出量(実測分) (MBq)	/	5.2×10 <sup>-3</sup>	/	計 5.2×10 <sup>-3</sup>	2.3×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
	第2	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.4×10 <sup>-6</sup>	1.7×10 <sup>-6</sup>	/	/	/	<sup>22</sup> Na 4.1×10 <sup>-3</sup>
		放出量(実測分) (MBq)	6.2×10 <sup>-1</sup>	2.0×10 <sup>-1</sup>	/	計 8.2×10 <sup>-1</sup>	5.1×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	(3カ月合成試料)				1.0×10 <sup>-7</sup>	<sup>90</sup> Sr
		放出量(実測分) (MBq)					計 3.7×10 <sup>-2</sup>	5.3×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.1×10 <sup>-6</sup>	4.9×10 <sup>-6</sup>	/	/	/	<sup>134</sup> Cs 4.2×10 <sup>-3</sup>
		放出量(実測分) (MBq)	5.8×10 <sup>-1</sup>	5.9×10 <sup>-1</sup>	/	計 1.2	4.4×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
第3	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.6×10 <sup>-4</sup>	/	/	/	/	<sup>134</sup> Cs	
	放出量(実測分) (MBq)	9.7×10 <sup>-3</sup>	/	/	計 9.7×10 <sup>-3</sup>	3.8×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	8.6×10 <sup>-4</sup>	/	/	/	/	<sup>137</sup> Cs	
	放出量(実測分) (MBq)	1.8×10 <sup>-2</sup>	/	/	計 1.8×10 <sup>-2</sup>	4.4×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
(注2) 原子力 機構 サイ クル 工 研	第1	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	/	4.9×10 <sup>-6</sup>	6.9×10 <sup>-6</sup>	3.7×10 <sup>-6</sup>	<sup>134</sup> Cs 3.0×10 <sup>-4</sup>	
		放出量(実測分) (MBq)	/	4.6×10 <sup>-2</sup>	8.4×10 <sup>-2</sup>	計 1.3×10 <sup>-1</sup>	3.1×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	2.6×10 <sup>-6</sup>	6.3×10 <sup>-6</sup>	9.1×10 <sup>-6</sup>	5.9×10 <sup>-6</sup>	<sup>137</sup> Cs 3.7×10 <sup>-4</sup>	
		放出量(実測分) (MBq)	3.6×10 <sup>-2</sup>	5.9×10 <sup>-2</sup>	1.1×10 <sup>-1</sup>	計 2.1×10 <sup>-1</sup>	3.8×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	

(注1) 原子力機構原科研

第1：希釈倍率 $9.1 \times 10^2$ 倍

$^{90}\text{Sr}$ は3カ月合成試料

$^{90}\text{Sr}$ ,  $^{137}\text{Cs}$ ：環境シミュレーション試験棟からの廃液

$^{232}\text{Th}$ ：第4研究棟からの廃液

第2：希釈倍率 $1.3 \times 10^2$ 倍

$^{90}\text{Sr}$ は3カ月合成試料

$^{22}\text{Na}$ ：J-PARC施設からの廃液

$^{90}\text{Sr}$ ,  $^{134}\text{Cs}$ ：放射性廃棄物処理施設からの廃液

$^{134}\text{Cs}$ については福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響による。

第3：希釈倍率 $1.1 \times 10$ 倍

$^{134}\text{Cs}$ ,  $^{137}\text{Cs}$ ：バックエンド技術開発建家からの廃液

福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響による。

(注2) 原子力機構サイクル工研

連続採取による合成試料，希釈倍率 $1.1 \times 10^2$ 倍

福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響による。

参考) 排液中又は排水中の濃度限度

試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則等の規定に基づき、線量限度等を定める告示  
(昭和63年7月26日科学技術庁告示第20号、平成17年11月30日文部科学省告示第163号により一部改正)

核種	濃度限度 <sup>(注1)</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )	核種	濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	核種	濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
<sup>3</sup> H	6×10 <sup>(注2)</sup>	<sup>65</sup> Zu	2×10 <sup>-1</sup>	<sup>134</sup> Cs	6×10 <sup>-2</sup>
<sup>7</sup> Be	3×10	<sup>87</sup> Y	2	<sup>137</sup> Cs	9×10 <sup>-2</sup>
<sup>14</sup> C	2	<sup>89</sup> Sr	3×10 <sup>-1</sup>	<sup>144</sup> Ce	2×10 <sup>-1</sup>
<sup>22</sup> Na	3×10 <sup>-1</sup>	<sup>90</sup> Sr	3×10 <sup>-2</sup>	<sup>152</sup> Eu	6×10 <sup>-1</sup>
<sup>35</sup> S	1	<sup>95</sup> Zr	9×10 <sup>-1</sup>	<sup>154</sup> Eu	4×10 <sup>-1</sup>
<sup>36</sup> Cl	9×10 <sup>-1</sup>	<sup>95</sup> Nb	1	<sup>192</sup> Ir	6×10 <sup>-1</sup>
<sup>51</sup> Cr	2×10	<sup>99m</sup> Tc	4×10	<sup>232</sup> Th	4×10 <sup>-3</sup>
<sup>54</sup> Mn	1	<sup>103</sup> Ru	1	<sup>234</sup> Th	2×10 <sup>-1</sup>
<sup>57</sup> Co	4×10	<sup>106</sup> Ru	1×10 <sup>-1</sup>	U	2×10 <sup>-2</sup>
<sup>58</sup> Co	1	<sup>110m</sup> Ag	3×10 <sup>-1</sup>	<sup>237</sup> Np	9×10 <sup>-3</sup>
<sup>59</sup> Fe	4×10 <sup>-1</sup>	<sup>129</sup> I	9×10 <sup>-3</sup>	<sup>239</sup> Pu	4×10 <sup>-3</sup>
<sup>60</sup> Co	2×10 <sup>-1</sup>	<sup>131</sup> I	4×10 <sup>-2</sup>	<sup>241</sup> Am	5×10 <sup>-3</sup>

(注1) 濃度限度は3ヶ月平均濃度であり、<sup>3</sup>H以外の核種はその核種において最も低い値である。

(注2) 水としての濃度限度。有機物(メタンを除く)としての濃度限度は2×10Bq/cm<sup>3</sup>。

3-2-2 排水中の全β放射能測定結果

測定者	評価対象	判断基準
施設者	月最高濃度	$2 \times 10^{-2}$ Bq/cm <sup>3</sup>
	月平均濃度	$4 \times 10^{-3}$ Bq/cm <sup>3</sup>
県 水戸原子力事務所	測定毎濃度	$2 \times 10^{-2}$ Bq/cm <sup>3</sup>

測定者	排水溝	項目	放出状況				主な放出核種及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
(注1) 原子力機構原科研	第1	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$3.1 \times 10^{-4}$	$3.6 \times 10^{-4}$	$2.7 \times 10^{-4}$		<sup>60</sup> Co $2.3 \times 10^{-5}$	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$2.7 \times 10^{-4}$	$3.0 \times 10^{-4}$	$2.2 \times 10^{-4}$	$2.6 \times 10^{-4}$	$2.8 \times 10^{-5}$ Bq/cm <sup>3</sup>	
	第2	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$2.6 \times 10^{-4}$	$2.3 \times 10^{-4}$	$2.1 \times 10^{-4}$		<sup>60</sup> Co, <sup>137</sup> Cs $2.3 \times 10^{-5}$	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$2.1 \times 10^{-4}$	$2.1 \times 10^{-4}$	×	$2.1 \times 10^{-4}$	$2.7 \times 10^{-5}$ Bq/cm <sup>3</sup>	
	第3	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$4.1 \times 10^{-4}$	×	$2.7 \times 10^{-4}$		<sup>60</sup> Co $2.2 \times 10^{-5}$	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$4.1 \times 10^{-4}$	×	$2.7 \times 10^{-4}$	$2.9 \times 10^{-4}$	$2.7 \times 10^{-5}$ Bq/cm <sup>3</sup>	
(注2) 原子力機構サイクル工研	第1	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$2.0 \times 10^{-6}$	$5.9 \times 10^{-6}$	$2.0 \times 10^{-5}$		U $1.8 \times 10^{-4}$ Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$2.0 \times 10^{-6}$	$5.9 \times 10^{-6}$	$6.3 \times 10^{-6}$	$4.5 \times 10^{-6}$		
		放出量	実測分 (MBq)	$2.8 \times 10^{-2}$	$5.5 \times 10^{-2}$	$7.6 \times 10^{-2}$		計 $1.6 \times 10^{-1}$
			不検出分 (MBq)	0	0	0		計 0
(注3) 原子力機構大洗	北地区	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$5.8 \times 10^{-4}$	$2.8 \times 10^{-4}$	$3.2 \times 10^{-4}$		<sup>60</sup> Co, <sup>137</sup> Cs $2.0 \times 10^{-4}$ Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$3.1 \times 10^{-4}$	$2.8 \times 10^{-4}$	$2.7 \times 10^{-4}$	$2.9 \times 10^{-4}$		
(注4) 原子力機構那珂	貯水槽	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×			全β $3.5 \times 10^{-3}$ Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )		×		×		
積メ ディ カル 水	調整槽	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$3.6 \times 10^{-4}$	$2.8 \times 10^{-4}$	$3.9 \times 10^{-4}$		全β $2.0 \times 10^{-4}$ Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$3.1 \times 10^{-4}$	$2.5 \times 10^{-4}$	$2.7 \times 10^{-4}$	$2.8 \times 10^{-4}$		

(注1) 原子力機構原科研

福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響を含む。

(注2) 原子力機構サイクル工研

第1：希釈倍率  $1.1 \times 10^2$  倍。福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響を含む。

(注3) 原子力機構大洗

福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響を含む。

(注4) 原子力機構那珂

貯水槽：希釈倍率  $1.7 \times 10^3$  倍

10月、12月は排水の放出なし。

3-2-2' 排水中の全β放射能測定結果

測定者	排水溝	項目	放出状況			
			10月	11月	12月	平均
県	原子力機構原科研 (第1)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.6×10 <sup>-4</sup>	5.2×10 <sup>-4</sup>	×	3.9×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.4	11.2	12.2	
	〃 (第2)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.5×10 <sup>-4</sup>	×	2.9×10 <sup>-4</sup>	2.7×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.4	11.2	12.2	
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	2.4×10 <sup>-4</sup>	2.1×10 <sup>-4</sup>	×	
		採水月日	10.19	11.15	12.15	
	〃 (第3)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	6.6×10 <sup>-4</sup>	×	2.9×10 <sup>-4</sup>	3.8×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.12	11.30	12.21	
	原子力機構サイクル工研 (第1)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	6.4×10 <sup>-4</sup>	7.5×10 <sup>-4</sup>	8.1×10 <sup>-4</sup>	7.3×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.4	11.2	12.2	
	〃 (第2)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	3.9×10 <sup>-4</sup>	2.8×10 <sup>-4</sup>	2.7×10 <sup>-4</sup>	3.1×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.4	11.2	12.2	
	原子力機構大洗 (北地区)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	5.3×10 <sup>-4</sup>	5.1×10 <sup>-3</sup>	4.2×10 <sup>-4</sup>	4.9×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.19	11.15	12.15	
	三菱原燃	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	7.7×10 <sup>-4</sup>	2.8×10 <sup>-4</sup>	1.0×10 <sup>-3</sup>	6.8×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.21	11.15	12.2	
	原燃工	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.0×10 <sup>-3</sup>	1.0×10 <sup>-3</sup>	9.3×10 <sup>-4</sup>	9.8×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.4	11.2	12.15	
	JCO	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	3.4×10 <sup>-3</sup>	2.3×10 <sup>-3</sup>	1.6×10 <sup>-3</sup>	2.4×10 <sup>-3</sup>
		採水月日	10.14	11.11	12.9	
ND C (注1)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	8.0×10 <sup>-4</sup>		5.9×10 <sup>-4</sup>	4.6×10 <sup>-4</sup>	
	採水月日	10.14		12.8		
積水メディカル	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.2×10 <sup>-3</sup>	5.0×10 <sup>-4</sup>	4.7×10 <sup>-4</sup>	7.2×10 <sup>-4</sup>	
	採水月日	10.4	11.2	12.2		
住友鉱山 (注2)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )					
	採水月日					



測定者	排水溝	項目	放出状況			
			10月	11月	12月	平均
水戸原子力事務所	原子力機構原科研 (第1)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	3.1×10 <sup>-4</sup>	3.1×10 <sup>-4</sup>	2.7×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.26	11.22	12.1	
〃	(第2)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	3.6×10 <sup>-4</sup>	×	2.5×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.26	11.22	12.1	
〃	(第3)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	2.6×10 <sup>-4</sup>	×	×	2.2×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.12	11.30	12.21	
原子力機構サイクル工研 (第1)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.5×10 <sup>-4</sup>	6.4×10 <sup>-4</sup>	7.3×10 <sup>-4</sup>	6.1×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.21	11.16	12.1	
原子力機構大洗 (北地区)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	4.3×10 <sup>-4</sup>	7.8×10 <sup>-4</sup>	4.7×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.19	11.8	12.1	
積水メディカル	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.4×10 <sup>-4</sup>	3.2×10 <sup>-4</sup>	2.6×10 <sup>-4</sup>	3.4×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.4	11.8	12.1	
三菱原燃	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	6.2×10 <sup>-4</sup>	4.1×10 <sup>-4</sup>	5.1×10 <sup>-4</sup>	5.1×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.28	11.18	12.2	
JCO	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	5.1×10 <sup>-4</sup>	3.7×10 <sup>-4</sup>	2.9×10 <sup>-4</sup>	3.9×10 <sup>-4</sup>
		採水月日	10.14	11.11	12.9	
原燃工	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	(注1)	7.9×10 <sup>-4</sup>	7.3×10 <sup>-4</sup>	
		採水月日		11.22	12.7	

県

(注1) NDCについては11月は排水の放出なし。

(注2) 住友鉱山については今期は排水の放出なし。

水戸原子力事務所

(注1) 福島第一原子力発電所事故等の影響により、採水が実施できなかった。

3-2-3 再処理施設排水中の放射性核種分析結果

測定者	評価対象	判断基準
施設者	3ヶ月放出量	保安規定に定める3ヶ月当たりの最大放出量
県	測定毎濃度	保安規定に定める最大放出濃度

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
原子力機構サイクル工研	再処理施設	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.8	5.0	1.1×10	6.5	<sup>3</sup> H	
		放出量	実測分 (MBq)	1.7×10 <sup>3</sup>	2.6×10 <sup>3</sup>	4.2×10 <sup>3</sup>	計 8.5×10 <sup>3</sup>	3.7
			不検出分 (MBq)	1.2×10 <sup>3</sup>	1.0×10 <sup>2</sup>	8.5×10	計 1.4×10 <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>89</sup> Sr	
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	2.2×10 <sup>-3</sup>
			不検出分 (MBq)	1.3	1.2	8.4×10 <sup>-1</sup>	計 3.3	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>90</sup> Sr	
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.1×10 <sup>-3</sup>
			不検出分 (MBq)	6.7×10 <sup>-1</sup>	6.0×10 <sup>-1</sup>	4.2×10 <sup>-1</sup>	計 1.7	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>95</sup> Zr	
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	2.5×10 <sup>-3</sup>
			不検出分 (MBq)	1.5	1.4	9.5×10 <sup>-1</sup>	計 3.9	Bq/cm <sup>3</sup>
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>95</sup> Nb		
	放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.8×10 <sup>-3</sup>	
		不検出分 (MBq)	1.1	9.8×10 <sup>-1</sup>	6.8×10 <sup>-1</sup>	計 2.8	Bq/cm <sup>3</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>103</sup> Ru		
	放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.1×10 <sup>-3</sup>	
		不検出分 (MBq)	6.7×10 <sup>-1</sup>	6.0×10 <sup>-1</sup>	4.2×10 <sup>-1</sup>	計 1.7	Bq/cm <sup>3</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>106</sup> Ru - <sup>106</sup> Rh		
	放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	3.2×10 <sup>-2</sup>	
		不検出分 (MBq)	1.9×10	1.7×10	1.2×10	計 4.8×10	Bq/cm <sup>3</sup>	

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種 及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
原子力 機構 サイクル 工事 研	再 処 理 施 設	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.5×10 <sup>-3</sup>	×	3.3×10 <sup>-3</sup>	1.9×10 <sup>-3</sup>	<sup>129</sup> I	
		放出量	実測分 (MBq)	9.1×10 <sup>-1</sup>	0	1.3	計 2.2	1.4×10 <sup>-3</sup>
			不検出分 (MBq)	0	7.6×10 <sup>-1</sup>	0	計 7.6×10 <sup>-1</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>131</sup> I	
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.8×10 <sup>-3</sup>
			不検出分 (MBq)	1.1	9.8×10 <sup>-1</sup>	6.8×10 <sup>-1</sup>	計 2.8	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>134</sup> Cs	
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.1×10 <sup>-3</sup>
			不検出分 (MBq)	6.7×10 <sup>-1</sup>	6.0×10 <sup>-1</sup>	4.2×10 <sup>-1</sup>	計 1.7	Bq/cm <sup>3</sup>
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>137</sup> Cs	
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	1.8×10 <sup>-3</sup>
			不検出分 (MBq)	1.1	9.8×10 <sup>-1</sup>	6.8×10 <sup>-1</sup>	計 2.8	Bq/cm <sup>3</sup>
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>141</sup> Ce		
	放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	2.2×10 <sup>-3</sup>	
		不検出分 (MBq)	1.3	1.2	8.4×10 <sup>-1</sup>	計 3.3	Bq/cm <sup>3</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>144</sup> Ce - <sup>144</sup> Pr		
	放出量	実測分 (MBq)	0	0	0	計 0	2.2×10 <sup>-2</sup>	
		不検出分 (MBq)	1.3×10	1.2×10	8.4	計 3.3×10	Bq/cm <sup>3</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	6.3×10 <sup>-5</sup>	6.2×10 <sup>-5</sup>	×	5.6×10 <sup>-5</sup>	Pu (α)		
	放出量	実測分 (MBq)	3.8×10 <sup>-2</sup>	3.4×10 <sup>-2</sup>	0	計 7.2×10 <sup>-2</sup>	3.7×10 <sup>-5</sup>	
		不検出分 (MBq)	0	0	1.4×10 <sup>-2</sup>	計 1.4×10 <sup>-2</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	

(注) <sup>89</sup>Sr, <sup>90</sup>Sr, <sup>129</sup>I 及びPu (α) は月合成試料

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種及びDL
			10月	11月	12月	平均	
県	原子力機構 サイクル工研 (再処理施設)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	5.7	4.9	1.1×10	4.0	<sup>3</sup> H 8.1×10 <sup>-2</sup> ~ 1.9×10 <sup>-1</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.3	11.24	12.5		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	2.3				
		採水月日	10.17				
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>95</sup> Zr 1.8×10 <sup>-4</sup> ~ 3.4×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.3	11.24	12.5		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×				
		採水月日	10.17				
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>95</sup> Nb 1.4×10 <sup>-4</sup> ~ 3.6×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.3	11.24	12.5		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×				
		採水月日	10.17				
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>106</sup> Ru 8.0×10 <sup>-4</sup> ~ 1.1×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.3	11.24	12.5		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×				
		採水月日	10.17				
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>131</sup> I 4.0×10 <sup>-4</sup> ~ 2.1×10 <sup>-3</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.3	11.24	12.5		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×				
		採水月日	10.17				
濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>134</sup> Cs 1.9×10 <sup>-4</sup> ~ 3.6×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>		
採水月日	10.3	11.24	12.5				
濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×						
採水月日	10.17						

測定者	排水溝	項目	放出状況				分析核種及びDL
			10月	11月	12月	平均	
県	原子力機構 サイクル工研 (再処理施設)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	2.0×10 <sup>-4</sup>	1.4×10 <sup>-4</sup>	<sup>137</sup> Cs 1.5×10 <sup>-4</sup> ~ 3.0×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.3	11.24	12.5		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×				
		採水月日	10.17				
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×	<sup>144</sup> Ce 3.9×10 <sup>-4</sup> ~ 7.0×10 <sup>-4</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.3	11.24	12.5		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×				
		採水月日	10.17				
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	5.9×10 <sup>-5</sup>	7.7×10 <sup>-5</sup>	6.6×10 <sup>-5</sup>	7.0×10 <sup>-5</sup>	Pu (α) 1.5×10 <sup>-5</sup> ~ 4.2×10 <sup>-5</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
		採水月日	10.3	11.24	12.5		
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	2.2×10 <sup>-4</sup>				
		採水月日	10.17				

(注) 11月2回目, 12月2回目は排水の放出なし。

参 考 法 令 値

核燃料物質の加工の事業に関する規則等の規定に基づき、線量限度等を定める告示（平成12年12月26日科学技術庁告示第13号、平成17年11月22日経済産業省告示第293号により一部改正）第9条第2～4項（再処理施設に適用）

海洋放出に起因する線量限度は3ヶ月間につき250マイクロシーベルトとするに基づき、原子力機構サイクル工研再処理施設保安規定では、次表のとおり放出の基準を定めている。

なお、本基準の「1年間の最大放出量」で放射性液体廃棄物を海洋へ放出した場合の実効線量は、年間約5.4マイクロシーベルトに相当する。また、「3ヶ月当たりの最大放出量」は、「1年間の最大放出量」の4分の1に当たる。「最大放出濃度」及び「1日当たりの最大放出量」は、これらを守るための日常の運転管理に係る基準である。

区 分	最 大 放 出 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1 日 当 た り の 最 大 放 出 量 (GBq)	3 ヶ 月 当 た り の 最 大 放 出 量 (GBq)	1 年 間 の 最 大 放 出 量 (GBq)
全α放射能	$3.0 \times 10^{-2}$	$1.1 \times 10^{-2}$	1.0	4.1
全β放射能 ( <sup>3</sup> Hを除く)	$1.2 \times 10$	3.7	$2.4 \times 10^2$	$9.6 \times 10^2$
<sup>89</sup> Sr	(注1) $2.3 \times 10^{-1}$	(注2) $7.0 \times 10^{-2}$	4.1	$1.6 \times 10$
<sup>90</sup> Sr	(注1) $4.8 \times 10^{-1}$	(注2) $1.4 \times 10^{-1}$	8.1	$3.2 \times 10$
<sup>95</sup> Zr - <sup>95</sup> Nb	$5.9 \times 10^{-1}$	$1.7 \times 10^{-1}$	$1.0 \times 10$	$4.1 \times 10$
<sup>103</sup> Ru	$9.3 \times 10^{-1}$	$2.7 \times 10^{-1}$	$1.6 \times 10$	$6.4 \times 10$
<sup>106</sup> Ru - <sup>106</sup> Rh	7.4	2.1	$1.3 \times 10^2$	$5.1 \times 10^2$
<sup>134</sup> Cs	$8.5 \times 10^{-1}$	$2.5 \times 10^{-1}$	$1.5 \times 10$	$6.0 \times 10$
<sup>137</sup> Cs	$7.8 \times 10^{-1}$	$2.3 \times 10^{-1}$	$1.4 \times 10$	$5.5 \times 10$
<sup>141</sup> Ce	$8.1 \times 10^{-2}$	$2.4 \times 10^{-2}$	1.5	5.9
<sup>144</sup> Ce - <sup>144</sup> Pr	1.7	$5.2 \times 10^{-1}$	$3.0 \times 10$	$1.2 \times 10^2$
<sup>3</sup> H	$2.5 \times 10^4$	$7.4 \times 10^3$	$4.7 \times 10^5$	$1.9 \times 10^6$
<sup>129</sup> I	(注1) $3.7 \times 10^{-1}$	(注2) $1.1 \times 10^{-1}$	6.7	$2.7 \times 10$
<sup>131</sup> I	1.6	$5.2 \times 10^{-1}$	$3.0 \times 10$	$1.2 \times 10^2$
Pu (α)	(注1) $3.0 \times 10^{-2}$	(注2) $1.1 \times 10^{-2}$	$5.9 \times 10^{-1}$	2.3

(注1) 1ヶ月平均1日最大放出濃度

(注2) 1ヶ月平均1日最大放出量

3-2-4 再処理施設排水中の全β放射能測定結果

測定者	評価対象	再処理排水に係わる低減化目標値
施設者	月最高濃度	10 Bq/cm <sup>3</sup>
	月平均濃度	4 Bq/cm <sup>3</sup>
県	測定毎濃度	10 Bq/cm <sup>3</sup>

測定者	排水溝	項目	放出状況				主な放出核種及びDL	
			10月	11月	12月	平均		
原子力機構サイクル工研	再処理施設	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×		2.2×10 <sup>-2</sup> Bq/cm <sup>3</sup>	
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×		
		放出量	実測分 (MBq)	0	0	0		計 0
			不検出分 (MBq)	1.3×10	1.2×10	8.4		計 3.3×10

3-2-4' 再処理施設排水中の全β放射能測定結果

測定者	排水溝	項目	放出状況			
			10月	11月	12月	平均
県	原子力機構サイクル工研 (再処理施設)	濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×
		採水月日	10.3	11.24	12.5	
		濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×			
		採水月日	10.17			

(注) 11月2回目, 12月2回目は排水の放出なし。

3-2-5 排水中の全 $\gamma$ 放射能連続測定結果

測定者	排水溝	項目		放出状況			
				10月	11月	12月	平均
県	原子力機構 原科研 (第2)	降雨時	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$5.4 \times 10^{-2}$	$6.1 \times 10^{-2}$	$8.7 \times 10^{-2}$	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×
		降雨時以外	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×
	原子力機構 サイクル工研 (再処理施設)	排水期時間	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	×	×	×	×
	原子力機構 大洗 (北地区)	降雨時	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$1.8 \times 10^{-1}$	$1.1 \times 10^{-1}$	$1.3 \times 10^{-1}$	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$1.0 \times 10^{-1}$	$9.6 \times 10^{-2}$	$9.4 \times 10^{-2}$	$9.7 \times 10^{-2}$
		降雨時以外	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$1.1 \times 10^{-1}$	$1.1 \times 10^{-1}$	$9.8 \times 10^{-2}$	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$9.7 \times 10^{-2}$	$9.4 \times 10^{-2}$	$8.8 \times 10^{-2}$	$9.3 \times 10^{-2}$
	原電 (東海第二)	降雨時	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$2.2 \times 10^{-2}$	$2.0 \times 10^{-2}$	$1.8 \times 10^{-2}$	
			平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$2.0 \times 10^{-2}$	$1.6 \times 10^{-2}$	$1.6 \times 10^{-2}$	$1.7 \times 10^{-2}$
降雨時以外		最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$2.1 \times 10^{-2}$	$2.1 \times 10^{-2}$	$1.7 \times 10^{-2}$		
		平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$1.9 \times 10^{-2}$	$1.7 \times 10^{-2}$	$1.4 \times 10^{-2}$	$1.7 \times 10^{-2}$	

(注) 測定値は、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響を含む。



平成23年度第3 四半期における排気・排水から検出された核種を福島第一原子力発電所事故起因とする理由  
(排 気)

事業所名	排気筒名	福島第一原発事故 起因とする核種名	福島第一原発事故起因とする (各事業所起因でない) 理由
三菱マテリアル	開発試験第IV棟	全β	○排気フィルターを点検した結果、健全であった。 ○全β測定において有意値が検出された濾紙について核種分析を実施したところ、 <sup>134</sup> Cs、 <sup>137</sup> Csが検出された。 ○ <sup>134</sup> CsについてはIV棟で使用していない。 ○管理区域内の空气中放射性物質濃度及び床汚染検査結果においても全て検出限界値未満であった。

(排 水)

事業所名	排水溝名	福島第一原発事故 起因とする核種名	福島第一原発事故起因とする (各事業所起因でない) 理由
原子力 原 機 研	第2排水溝	<sup>134</sup> Cs	○第2排水溝に流入する施設排水のうち、 <sup>134</sup> Csが検出された施設排水は放射性廃棄物処理施設の廃液からである。 ○放射性廃棄物処理施設においては、使用を停止した液体処理場からの排水であり、今回の排水は、現在、廃液処理に使用されていない屋外廃液処理設備からのもので、雨水が貯留されたものである。
	第3排水溝	<sup>134</sup> Cs、 <sup>137</sup> Cs	○第3排水溝に流入する施設排水のうち、 <sup>134</sup> Cs、 <sup>137</sup> Csが検出された施設排水はバックエンド技術開発建家の廃液からである。 ○バックエンド技術開発建家においては、震災以降、非密封RIの取扱いは実施していない。 ○ <sup>134</sup> Cs についての使用実績はない。
原子力 機 工 研	第1排水溝 (プルトニウム燃料第二開発室、 プルトニウム燃料第三開発室、ウラン焼却施設、ウラン系廃棄物貯蔵施設、洗濯場)	<sup>134</sup> Cs、 <sup>137</sup> Cs	○プルトニウム燃料第二開発室、プルトニウム燃料第三開発室、ウラン焼却施設、ウラン系廃棄物貯蔵施設、洗濯場は <sup>134</sup> Cs、 <sup>137</sup> Csの使用許可を取っておらず、使用実績もない。 ○安全管理棟は本四半期における、 <sup>134</sup> Cs、 <sup>137</sup> Csの使用実績はない。
原子力 機 洗	北地区 (JMTR, HTTR, 常陽, FMF)	<sup>137</sup> Cs、全β	(JMTR, HTTR及び常陽) ○それぞれの原子炉は、施設定期検査中であり、放射性物質の放出を伴う運転等は実施されていない。 (FMF) ○燃料ピン切断作業やピンパンクチャータ試験等を10月、11月に実施したが、11月に希ガスが放出されたが、これまでも同等のレベルの放出である。 (全施設共通) ○管理区域からの排水については、 <sup>3</sup> H以外は検出されていない。 ○主要核種である <sup>60</sup> Coが検出されていない。
原 電	東海発電所	<sup>137</sup> Cs	○廃止措置中であり、全燃料が取り出されている。 ○放射性物質の所外放出を伴うような設備の損傷はない。 ○ <sup>60</sup> Co等の放射性生成物は放出前の排水測定において検出されていない。
	東海第二発電所	<sup>137</sup> Cs	○東北地方太平洋沖地震により停止し、5月21日から第25回定期検査中である。 ○放射性物質の所外放出を伴うような設備の損傷はない。 ○ <sup>60</sup> Co等の放射性生成物は放出前の排水測定において検出されていない。
原 燃 工	排水ポンド	全β (Th, Pa)	○排水設備は健全である。 ○Thを使用する施設は、HTTR燃料製造施設であるが、2003年以降Thの取扱はなく、Thは原料貯蔵庫に保存されている。なお、保管状況に異常は認められていない。 ○Uの娘核種であるTh、Paを全ベータ測定で確認しているが、Uは検出されていない。

## 参考 1 原子力機構再処理施設排水環境影響詳細調査結果

### 1. 調査目的

再処理施設低レベル廃液の海洋放出に伴う放出口周辺海域における放射能水準の変動を詳細に把握するため、放出口を中心とした一定海域について海水の放射性物質濃度の調査を行う。

### 2. 調査方法

放出口周辺、東西 3 km、南北10kmの海域において表層30地点で採水し、全 $\beta$ 放射能（30地点）、トリチウム（30地点）、 $^{137}\text{Cs}$ （7地点）について分析する。

本調査は、原則として毎月上旬に定期的を実施する他、排水中の全 $\beta$ 放射能濃度が、 $6.11\text{Bq}/\text{cm}^3$ を超えた場合に実施する。

### 3. 調査結果

当期の調査は、10月11日、11月7日及び12月12日に実施した。

その結果、上記海域の海水中放射性物質濃度の平均値は、全 $\beta$ 放射能について $0.044\text{Bq}/\text{L}$ 、トリチウムについて検出限界値（ $40\text{Bq}/\text{L}$ ）未満、 $^{137}\text{Cs}$ について $0.076\text{Bq}/\text{L}$ であった。また、放出排水の全 $\beta$ 放射能濃度が、 $6.11\text{Bq}/\text{cm}^3$ 未満であった。

なお、福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質放出の影響により、全 $\beta$ 放射能及び $^{137}\text{Cs}$ が検出された。

採水地点別濃度 (3ヶ月平均値)

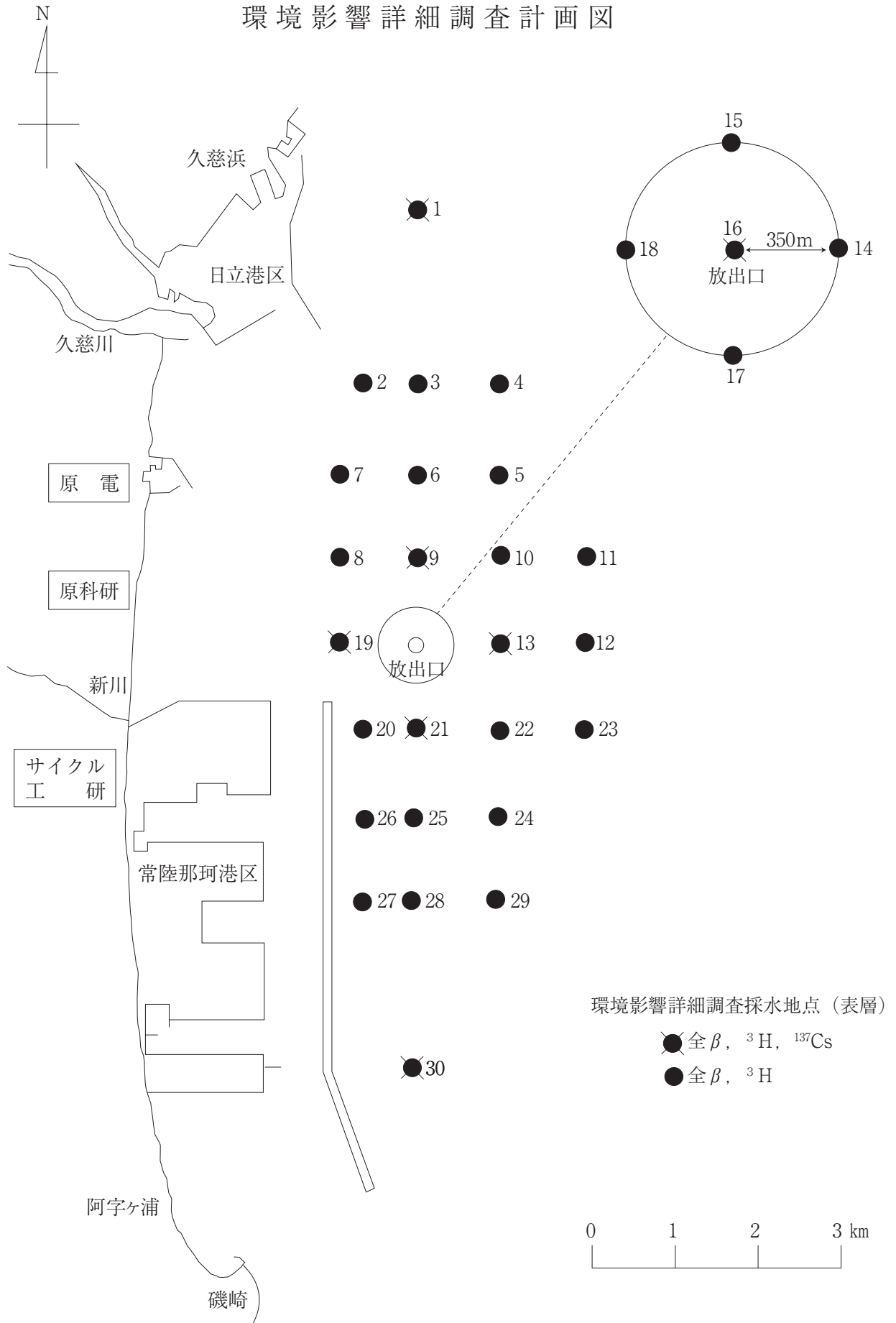
採水地点	全β放射能	トリチウム	<sup>137</sup> Cs
	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)
1	×	×	0.077
2	×	×	
3	0.041	×	
4	0.043	×	
5	×	×	
6	×	×	
7	0.040	×	
8	×	×	
9	×	×	0.078
10	×	×	
11	0.040	×	
12	×	×	
13	0.040	×	0.073
19	×	×	0.073
20	0.040	×	
21	×	×	0.079
22	×	×	
23	0.042	×	
24	0.10	×	
25	0.067	×	
26	0.043	×	
27	×	×	
28	×	×	
29	×	×	
30	×	×	0.073
放出点	0.042	×	0.077

注1. 検出限界値：全β放射能 0.04 Bq/L

トリチウム 40 Bq/L

2. 放出点：放出口周辺5地点(14~18)の平均値

# 環境影響詳細調査計画図



参考2 主要施設運転状況

事業所名	施設名	10月	11月	12月
(注1) 原子力機構 原科研	J R R - 2	残存施設の維持管理		
	J R R - 3	施設定期検査		
(注2) 原子力機構 サイクル工研	再処理施設	施設定期検査		
(注3) 原子力機構 大洗	J M T R	施設定期検査		
	H T T R	施設定期検査		
	高速実験炉 「常陽」	施設定期検査		
(注4) 原電	東海発電所	廃止措置		
	東海第二発電所	第25回定期検査		

(注1) 原子力機構原科研

J R R - 2 : 平成8年12月19日に共同利用運転を終了し解体工事に着手。原子炉本体を密封するとともに周辺機器の撤去を終了し、平成16年4月より残存施設の維持管理中。

J R R - 3 : 施設定期検査 (平成22年11月20日から受検)

(注2) 原子力機構サイクル工研

再処理施設: 施設定期検査 (平成19年7月30日から受検)

(注3) 原子力機構大洗

J M T R : 施設定期検査 (平成18年9月1日から受検)

H T T R : 施設定期検査 (平成23年2月1日から受検)

高速実験炉「常陽」: 施設定期検査 (平成19年5月15日から受検)

(注4) 原電

東海発電所: 平成10年3月31日 発電 (運転) 停止

平成13年12月4日 廃止措置着手

東海第二発電所: 第25回定期検査 (平成23年5月21日から受検)

再処理施設処理状況（せん断処理について記載）

処 理 期 間	対 象 発 電 所 名	炉 型 式 (PWR,BWR又はATR)	処 理 量 (T)	平 均 燃 焼 度 (MWD/T)	冷 却 日 数 (年)
計					